

ルヲ以テ入庫貨物ニ就キ保管ノ責ニ任セス唯タ單ニ貯置ス  
ヘキ場所ヲ供給スルニ過キサレハ從テ倉庫證券ヲ發行セス  
庫入庫ニ關シテ何等ノ書式ヲ要セス倉敷料ノ如キ敷地料  
家屋修繕費手數料其他租稅等ノ實費ヲ徵スルニ過キス(期  
限又ハ客積ノ大小ヲ標準トシテ決定スルコトナク唯貨物ノ  
種類ニ應シ其一箇ニ對スル料率ヲ定ムルニ過キス倉庫料ノ  
支拂期限ハ貨物引取ノ時期ヲ以テ通例トストモ平碼行ノ  
取扱貨物ノ代金決済ハ季末ナルヲ以テ從テ其支拂モ季末ト  
ス)只々荷主ノ希望ニヨリ貨物ヲ抵當トシ其見積價格ノ五  
割乃至七割ニ相當スル金額ヲ前渡シ該貨物ハ成行相場ニヨ  
リ賣却シ前記立替金ノ決済ヲナス如キ融通方法ヲ行フコト  
アリ

## 第二 質屋(當舗)所屬倉庫

船珠江ヲ遡リテ廣東市街ヲ望見シ得ルニ至レハ所々城壁ノ  
断片ノ如キ長方形ノ建物高ク聳ヘ立テルヲ見ル是レ質屋ノ  
倉庫ニシテ其構造ハ煉瓦ヲ以テ築キ表面白堊ヲ施スモノア  
リ面積大凡武間四方高サ四丈乃至五丈側面ニ數個ノ小窓  
(鉄眼ニシテ土匪襲來ノ如キ不時ノ場合應戰ノ用ニ供ス)ヲ  
穿チ内部ニハ數個ノ階段ヲ設ケ數層ニ亘り質入ノ期間ニ從  
テ貨物ヲ藏置ス大體ノ構造極メラ堅固ニシテ真ニ城郭ノ觀  
アリ營業所モ堅ク格子ヲ以テ閉鎖シ小高キ場所ニ二尺四方  
許ノ窓口ヲ設ケ取引ヲナス何レモ土匪ニ備フル爲メナリ  
第三 汽船會社ノ倉庫

汽船會社中倉庫ヲ有スルモノハ太古洋行、招商局、怡和洋  
行ニ過キス就中太古洋行貨物最モ著名ナリ

## (一) 太古洋行倉庫

イ、太古洋行倉庫ハ廣東ニ於ケル代表的倉庫トモ云フヘ  
シ十棟ヨリ成リ二棟瓦壁ヲ接スルヲ以テ外觀一棟ノ如  
ク見ユ各大サヲ同シクス一棟約貳百坪合計約貳千坪有  
リ、十棟中四棟ハ少シク古ク十貳年前ノ建築ニシテ六棟  
ハ六七年前ノ建築ナリ  
ハ、十棟共煉瓦造ニシテ鐵骨ヲ用ユ武棟ハ貳階ヲ有シ貴  
重品ノ保管ヲナス倉庫トシテノ設備殆ント間然スル處  
ナク倉庫前ヨリ圖ノ如キ幅五間餘長貳十間ノ埠頭ヲ突  
出ス埠頭ハ三個アリ各三千噸級ノ船舶自由ニ横付トナ  
ル事ヲ得

ニ、倉庫ハ河南珠江ノ河岸ニ在リ三千噸級ノ船舶ハ埠頭  
ニ横着セラレ貨物ハ直ニ手車ニヨリテ倉庫ニ運搬セラ  
レ荷揚ニ對シテハ些ノ不便ヲ感セス  
ホ、現在在庫貨物ハ豆粕、麥粉、落花生、大豆、鐵機、  
紙、石油、綿糸等ニシテ此等ハ全部當地產貨物ニ非ス  
シテ太古洋行上海線初メ北米南洋等ヨリ輸入セラレタ  
ルモノナリ  
ヘ、太古洋行倉庫ハ倉庫營業ノ目的ヲ以テ設立セラレタ  
ルモノニ非シテ自己本來ノ營業タル運送業ノ補助機  
關ドシテ設ケラレタルモノナリ故ニ自己所有ノ船舶ニ  
ヨリテ運送セラレタル貨物ハ全部當倉庫ニ入庫セラ  
而シテ保管料モ一週間以内ハ徵收セス荷扱貨モ又格外  
ノ低率ナリ

## 十二年前ノ建築ナリト云フモ一見貳十餘年ヲ經過セル

モノ、如ク見ユ  
ロ、家屋ハ極メテ粗惡ナル煉瓦造ニテ屋根ニハ支那瓦ヲ  
用ユ床ハ「コンクリート」ニテ固メラレ大小ノ貨物ハ其  
上ニ積載セラレ窓少クシテ暗ク内部ノ空氣溫潤ナリ水  
害ニ對スル設備ナク一昨年ノ增水ノ際ノ外キ床上三尺  
餘ノ浸水アリ寄託貨物ハ殆ト全部水ニ浸リタリト云フ  
ハ、東興倉庫ハ河南珠江ノ河岸ニ在リ倉庫ヨリ河岸迄木  
製ノ棧橋ヲ突出シアルモ水淺クシテ大船ヲ繫留スル事  
能ハス僅ニ舢舨ニ依リ貨物ヲ運送ス

ニ、現在在庫品ハ當地產貨物大部分ヲ占メ葉煙草、桂皮、  
紙、生糸、屑糸等其主タルモノナリ  
ホ、保管料ニ就テハ一定セル定ナキモ重量及客積ヲ適宜  
ニ斟酌シテ料金ヲ定ムルモ大體才量一噸ニ付キ一ヶ月  
二十仙位ノ割合ナリト云フ  
ヘ、預託モ一定ノ割合ナリト云フ

茲收到貯倉  
印  
貴客  
………  
東興棧謹白  
………  
商行啓  
印  
每件上銀銀毫毛  
東興棧書

ト、倉庫證券ハ發行セス貨物ハ船荷證券ト引換ニ引渡セ  
ラル  
第四 私有倉庫(民有)  
廣東ニ於ケル私有倉庫ハ無數ナルモ沙面附近ニ於テ最モ著  
シキモノヲ舉クレハツ先ツ指ヲ怡昌倉庫ニ届セサルヘカラ  
ス怡昌倉庫ハ  
イ、二棟ヨリ成ル一棟ハ三百六十九坪有リ他ノ一棟ハ二百  
六十坪有リ  
十五年前ノ建築ナリト云フ  
ロ、二棟モ煉瓦造ニシテ「コンクリート」ヲ以テ覆ヘリ屋  
根ハ支那瓦ヲ用ヒ床ハ「コンクリート」ニテ固メラリ  
トシテノ設備比較的整備ス  
ハ、大湧口珠江ノ河岸ニ在リ倉庫ヨリ幅四間全長七十餘間  
ノ岩壁ヲ突出シ(河中ニ非ス倉庫建物ニ沿ヒテ)船舶ノ寄  
着ニ便ニス大船ヲ繫留スル能ハナルモ吃水三四尺ノ小蒸  
氣船ハ岸壁ニ横着セラル  
(二) 東興倉庫  
イ、三棟ヨリ成ル内貯棟ハ壁ヲ接シ一棟ノ如ク見ユ三棟  
共大ナヲ異ニス第一棟ハ間口十二間奥行十一間餘第二  
棟ハ間口十二間奥行貳十四間第三棟ハ間口十二間奥行  
十四間アリ全體ノ坪數五百八十八坪有リ貨物ノ收客力  
十分ナリト云フ能ハス

白 瑞 有 瑞 同  
沙 薦 樹 皮 祖 香 蘭  
木 薦 茶 檳 櫟 同  
一、四〇  
一、八〇

一各種雜貨ハ一定ノ料率アラスシテ検閲後個數計算ヲ以テ之ヲ定ム

一入庫貨物ハ均シク一月トシテ計算シ之ヲ過クルモノハ月ヲ按シテ加算ス若シ出庫ニニシテ満月ト十日以内ニ在ル時ハ其ノ十日ヲ除去シ十日ヲ超ヘタルモノハ更ニ一ヶ月分ヲ加算ス若シ在庫品ニシテ他ニ移轉セントスルモノハ新入貿品ト見做シテ諸費ヲ微ス

以上ノ外阜陸倉庫（河南風凰園）太平倉庫樂豐倉庫（河南福仁市海邊）永德倉庫（河南和珠社側）福仁倉庫（河南等アレトモ數フルニ足ラス

第三項 廣東ニ於テ倉庫業ノ發達セサリシ  
原因  
上述ノ如ク廣東ニハ小規模ナカラ營業ヲ目的トスル倉庫業者アリト雖勢力微々トシテ振ハス其理由ハ大體左記ノ外ニ  
出ナルヘシ

第一 汽船會社ノ活動  
各地同様汽船會社殊ニ太古洋行等ノ活動ニヨリ著シク斯業ノ發達ヲ妨害セリ即チイ、汽船會社ハ完全ナル接橋並ニ倉庫ノ設備アリモ此レ表面ノミニシテ競争ノ結果其猶豫期間ヲ延長シ殆ント保管料ヲ徵セサルコトアリ

右ノ内貴客云々ノ文字左ノ如シ  
貴客光顧所儲貨物倘有不測各安天命箱包貨物不知真僞  
違禁等情原來原去或有干輕鼠蟻破壞與棧無涉無得異言  
不得在租工銀控減先此聲明立字爲據

一五九

一五

卷之三

卷之三

一、五〇  
一、七〇  
數料毎月一元六十仙  
香港九龍倉庫公司ノ影響  
第三 舵側渡シノ慣習並ニ民船ノ利用  
輸入貨物ハ舷側渡シヲ原則トシ汽船會社所屬ノ倉庫ニ入  
モノ、外筋ント全部ハ直チニ荷受主ニ引渡サレ荷受主ハモ  
レヲ自家倉庫ニ格納ス又輿地行貨物ハ民船ニヨリ運搬シテ  
感ナク九龍倉庫ヲ利用シ必要ニ從ヒ臨機適宜ノ分量ヲ引  
入ルヲ以テ足ル  
リ  
ハ、太古怡和ノ如キハ特ニ奥地貨物搬出ニ對シ便宜ヲ計  
リ釐金稅賦課ヲ免シムル方法ヲ講ス  
ニ、運賃ハ二ヶ月拂ノ規定ナレトモ六ヶ月迄ハ猶豫スル  
ノ如クニシテ大小ノ貨物ハ一一ニ汽船會社ノ手ニヨリセ  
輸入若クハ輸出セラレ各社爭フテ貨物ノ吸集ニ腐心ニ  
ル狀況ナリ

一切其責ニ任セス各自異議ノ申立ヲ爲ス事ヲ得ス夫  
カ爲ニ倉庫保管料其他ノ割引ヲ請求スルコトヲ得ス  
  
**(二)花地倉庫**  
芳村ノ西ニ當リ「花地」ト稱スル一地域アリ珠江ノ一支流  
入ス其東岸七八軒ノ倉庫アリ兩益、林記、宏偉、三維、  
源公安、平安、美記等此ナリ其同業組合規約ト目スヘキ  
ノ別紙ノ通リ

庫業ニ一層ノ困難ヲ加エ居レリ

支那家屋ハ其構造自然倉庫ノ代用ニ適シ當分ノ格納ニ差支ナク且ツ特設倉庫ノ準備ヲ促シ可成リノ商人ハ何レモ相當ノ倉庫ヲ所有シ居レリ

以上ノ理由ニヨリ支那人ハ勿論外人ニ於テモ獨立ノ倉庫業ヲ經營セントセシモノ極メテ少ク事實現在ノ設備方法ヲ以テシテ甚シク不自由ヲ感セス今後ト雖當分獨立業ノ必要ヲ威セサルヘシ左ニ日支合辦ニ係ル南洋倉庫ノ營業狀態ヲ記述スヘシ

#### 第四項 南洋倉庫株式會社

南洋倉庫ハ本店ヲ臺灣ニ有スル日支合辦ノ會社ニシテ當地支店ハ大正九年四月前ノ臺灣倉庫（同社ハ臺灣總督府ヨリ年額臺萬八千元ノ補助ヲ受ケタリ）ヲ譲受ケテ開業シタルモノニ係リ沙面ニ倉庫ヲ有スル唯ノ會社ナリ階上階下合計三百二十坪ヲ有シ（二階ハ貯屯ヲ以テ極度トセリ）右壹坪壹ヶ月ニ對スル倉敷料收入約三元ニシテ全體ニ於ケル總收入約壹千元内外ニシテ通關ヲ兼業スルヲ以テ此收入約貳百元家屋一部ヲ小學校、俱樂部ニ貸シ貨物料三百元合計一ヶ月收入壹千五百元内外ニ及ヘリ之カ經營ニ要スル一ヶ月支出ハ經常費約壹千元家屋建築費借入金ニ對スル利息八百五十元合計壹千八百五十元ノ高ニ達シ好況ナル時代ニ於テ

モ尙一ヶ月約三百五十元ノ欠損ヲ生シ、アリト云フ以上ノ實狀ヲ觀察スルニ廣東ニ於ケル倉庫業ハ汽船業ヲ兼業スルカ或ハ販賣宿屋等ノ機關ヲ完備スルカニ非ナレハ到底其見込立チ難ク加フルニ香港ニ於ケル倉庫業ノ發展ハ廣東倉

#### 第一節 度

##### 第二項 尺 度

廣東省城ニ行ハルル尺度ノ標準ハ固ヨリ一定セル者ニ非ナレモ排錢尺ト名ツク者多ク行ハル此尺ノ長サハ十二時乃至十四時八ノ間ニ在ル者ト測定スヘシ、今十四時八トシテ之ヲ測レハ次ノ如クナル

一厘 Li 一英尺度 〇二一呎時 一我約一西〇五厘十厘 一分 Fan 一同一上 〇二四八時 一我約一西〇五分十分 一寸 Tsun 一同一上 〇一四八時 一我約一西〇五寸十寸 一尺 Cheh 一同一上 〇一四八時 一我約一西〇五尺十尺 一丈 Chung 一同一上 〇二三三三呎 一我約一西〇五尺五尺 一步 Pu 一同一上 〇一三六五呎 一我約一西〇五尺一丈〇〇尺 一里 Li 一同一上 〇一四〇三呎 一我約一西〇五尺一里 一舖 Pu 一同一上 〇一四〇四呎 一我約一七〇八町裁衣尺ト云ヘルハ此ノ排錢尺ト同種ニ屬シ、他ニ木匠尺ト十四吋一、土地尺一十四吋等トスル數種アリ

##### 第二項 面 積

土地面積ハ普通ニ五尺平方ヲ一弓又ハ一步トシ、二百四十步ヲ一畠トシ、百畠ヲ一頃ト名ツク但シ此間ニ六十歩（一畠ノ四分ノ一）ヲ一角ト云ヒ、二十四歩（一畠ノ十分ノ二）ヲ一分ト名ツク、又次ノ如キ井、畠モ行ハル

#### 第三節 量

量ハ之ヲ使用スルコト甚タ稀ニシテ量ヲ以テスルヨリモ衡ヲ用フルヲ便ナリトス、量ノ制度ハ次ノ如シ

一抄 一勺 Chuo 一我約〇〇五七一五勺  
十抄 一勺 Shuo 一我約〇五七一五勺  
十勺 一合 Ho 一我約五七一五勺  
十合 一升 Sheung 一我約五七一五合  
十升 一斗 Tou 一我約五七一五升  
五斗 一斛 Hu 一我約二八五七斗  
二斛 一石 Tun 一我約五七一五斗

#### 第十三章 交通及通信

##### 第一節 交 通

###### 第一項 水路及道路

本省ノ交通ハ其地勢上水運ヲ主トセリ蓋シ北方ハ五嶺ノ省城境ニ沿フテ連亘スルアリ西方ニハ天桂山、鳳凰山一帶ノ山脈アリテ陸路他省ノ交通ハ何レモ是等ノ山路ヲ越ヘサルヘカラサルノミナラス五嶺ノ支脈ハ大率平行シテ南方ニ向フテ以テ陸路ハ山岳多ク殊ニ西江ノ南部及高雷、欽廉ノ奥地ニ至リテハ其ノ不便ナルコト實ニ想像ノ外ニ出ツ尤モ鐵道ハ粵漢、廣九、三水及潮汕、新寧等アリト雖現在開通セル部分ハ之ヲ全省ノ大ニ比較スルトキハ未タ以テ遠ク及韓江等ノ大流各地ニ貫通シテ舟掛ノ利便多キノミナラス海

一排錢尺一〇〇平方尺 一井 Tsing 一我約一五〇六四平方尺  
六〇井 一畠 Mon 一我約二五〇七三步  
一〇〇畠 一頃 King 一我約 八萬町步

第二節 衡

衡ハ最モ多ク用ヒラレ説ニ「鶴羽ト小兒トノ外ハ皆重量ニテ賣買セラル」トアリ、金、銀、紹、棉布ヨリ米穀、蔬菜、酒、油、醬油、肉類ノ如キ悉ク秤量ス、サレト共通ノ標準ナク商店ニヨリ或ハ商品ニヨリ一々異ル、一斤ハ十四兩乃至十六兩ノ間ヲ往來シ一兩ノ標準遂ニ求メ難ゲレトモ大率一「盎ス」内外ニ在リ、衡器ニハ天平ト司瑪及ヒ戥三種アリ戯ハ金銀秤量ニ用ユ、其名稱ノ普通ナルハ次ノ如シ（今一兩一・二三「盎ス」トシテ計レゴ）

一厘 Li 一我約一〇〇七九厘  
十厘 一錢 Chon 一同一  
十錢 一兩 Lung 一同一  
一六兩 一斤 Kin 一同一  
二斤 一引 Yin 一同一  
二〇斤 一鈞 Chum 一同一  
一〇〇斤 一擔 Tun 一同一  
一二〇斤 一石 Tun 一同一  
一九三五二貫  
外國人ノ廣東ニ來リ通商スルヤ一七一〇年ノ頃一兩ヲ一三二「盎ス」ト協定シ、一七七〇年ニ至リ東印度商會カ支那商ト約定シタル者ハ一兩ヲ一三三「盎ス」ニシテ其後英、佛等通商條約ニテ規定スル所之ニ從フ

岸線長クシテ港灣ニ富ムヲ以テ海運ハ極メテ利便ニシテ彼ノ香港ヲ中心トスル汽船ハ省内各地ニ往來セリ故ニ陸路ニ依ルモノト雖半ハ水運ニ籍ルコト多シトス今省內ニ主ナル陸路ヲ舉クレハ左ノ如シ

一、福建通路本通路ニ二アリハ油頭、湖州地方ヨリ黃岡ヲ經テ福建省詔安縣ニ入り海岸ニ沿フテ福州ニ至ルモノニシテ他ハ韓江上流三河司地方ヨリ韓江ニ沿フテ福建省峯市ニ入り上杭ヲ過キ汀州ニ至ルモノナリ

二、江西通路本省ト江西省ノ交通ハ全ク陸路ニ依ルモノニシテ就中南雄州ヨリ梅嶺ヲ越へ江西省大庾縣ニ至ルヲ主ナル通路トス、本通路ハ古來粵江流域地方ト江西韓江流域各都市トノ貿易路ヲ爲シ延テ本省ト楊子江流域トヲ連結シタルモノナリ

三、湖南南路本通路ハ北行ノ上流韶州ヨリ西北ニ向ヒ樂昌縣ヲ經テ大揩領ヲ過キ湖南ニ入り郴州地方ニ至ルモノトス

四、廣西通路本通路ニ三アリハ西江沿岸ニ沿フテ廣西省梧州ニ至ルモノニ至ルモノ二ハ廉州ヨリ羅成江上流沿岸ニ沿フテ廣西鬱林ニ至ルモノ三ハ欽州ヨリ廣西南寧ニ至ルモノ是ナリ

尙西江流域通商港及增水減水ヲ示セハ次ノ如シ

江門、三水、梧州、南寧、龍州ヲ西江流域ニ於ケル主要商港トナス

梧州附近ニ於ケル流勢及増減水量ハ左ノ如シ

流速	夏期、自四月至十月、一時間三節乃至四節半但シ降 雨等ニ依ル出水ニハ著シク流速ヲ増加ス
冬期、自十一月至三月、一時間一節半乃至二節半	
最大増水	一九〇二年七月ニ於テ六八呎三吋、一九〇六年四月ニ於テ六一呎八吋
平均増水	一九〇七年十一月梧州水標零以下一呎六吋
第二項 鐵道並輕便鐵道	
第一、粵漢鐵道（廣東線）	本線ハ廣東省城ニ起リ湖南省ヲ經テ湖北省漢口ニ至ル全長 七百五十哩ノ大鐵道ニシテ漢口ニ於テ京漢鐵路ト連絡シ以 テ支那大陸ヲ縱斷セントスル極メア重要ナル鐵道ナリ然レ トモ本線カ起工セラレテヨリ約二十年ノ歲月ヲ經過シ猶未 タ開通セサル所以ノモハ固ヨリ地勢地理ニ原因スル所ナ キニアラスト雖前後幾多ノ曲折波瀾アリ計畫ノ變更多カリ シニ因ルモトス而シテ本線ノ現在開通セルハ廣東韶州間 百三十九哩三水支線三十哩漢口株州五百六十哩ニシテ全部 完成迄ニハ前途多大ノ年月ヲ要スヘシ
抑モ本鐵道ハ張之洞、盛宣懷等ノ發起ニ係リ米國ノ借款（一 八九八年）ヲ以テ起工シタルモノニシテ米國ニ於テハ上院 議員「プライス」ノ斡旋ニ依リ紹興八大銀行家ノ組織セル 中華合興公司（American China Development Co.）ニ依リ 表面上ノ資金ヲ供給シタレトモ此等資金ハ實際ニ於テ佛白 ヨリ供給セラレタルモノナリ蓋シ佛白茲ノ諸國ハ本鐵道借 款カ米國ニ歸スルヤ相結ンテ之ヲ覆サントシ米ノ借款公債	支那政府ノ買收スル所トナリ廣東省ノ分（廣東坪石間二百 八哩）ノミハ商辦即チ民資株式會社組織ヲ以テ經營スルコ トトシ一九〇五年粵漢鐵路總公司ヲ組織シテ現在官府ト關係ナク民間資本ヲ以テ之カ經營ニ任シツアリシモ工事兎角意ノ如ク進マス屢次會社ノ不信ヲ論シ紊亂ヲ譏爾者アリ 政府モ時々商辦ヲ改メテ官民合辦ト爲サント計り又ハ買收 ノ案ヲ樹テシコトアルモ革命其他ノ理由ニヨリテ遂ケス會 社ハ遅々トシテ工ヲ繼キ全線ノ約六七分卽チ廣東及韶州間 ヲ敷設今日ニ及ヘリ然シテ本會社ハ資本總額四千四百萬元 (一株五元八百八十萬株)拂达二千八百萬元ト稱セラレ大正 五年度ニ於ケル運貨額收入百十三萬餘元ニ上ルト雖利益 テ北シ韶州ニテ湧水ヲ越ヘ之ヨリ樂章水（北口土流）ニ沿 配富ヲ見ス而シテ本會社ハ香港政府借款百十一萬磅ノ七分 ヒ湖南界上ノ坪石ニ終ルモノトス此ノ如ク本線路ハ常ニ北 江ト並行シ而シテ北江ハ前述ノ如ク韶州或ハ英德縣迄ハ小 蒸汽ヲ往來セシハルカ故ニ水運ノ利便ハ多ク鐵道ニ貨物ヲ 供給セス又北江流域ハ物資豊富ナリト云フヲ得サルヲ以テ 現在本線ノ活動ハ廣東ヨリ鹽海產物及少許ノ雜貨ヲ沿線各 驛ニ送リ又各驛ヨリ薪炭、水牛、豚其他少數ノ雜品ヲ廣東

一六四

附近ニ送ルニ止マル然ルニ一九二〇年支那ニ於ケル鐵道敷設其他一切ノ經濟借款ヲ目的トスル日英米佛聯合ノ銀行團組織セラレ特別ノ除外例ヲ除キ從來一國又ハ二國以上ノ外國カ敷設權ヲ得タル支那ノ鐵道及將來敷設スヘキ一切ノ支那鐵道ハ右銀行團ニ於テ引受出資スルコトトナリタルモ支那南北不統一ノニメ廣東軍政府ハ今尙右銀行團ヲ承認セラル事情アリテ韶州株州間ノ鐵道開通ハ當分見込ナキ有様ナリ

## 第二、廣三鐵道

本鐵道ハ廣東省城外黃沙ノ對岸石圍塘ニ起り佛山ヲ經テ北江ノ合流點三水ニ至ル延長三十哩ノ鐵道ニシテ石圍塘佛山間二十哩ヲ複線トシ一九〇一年起工シ一九〇四年八月竣工シタルモノニシテ中華合興公司ノ建設ニ係ル然シテ本鐵道ハ一九〇五年粵漢本線ト共ニ支那ハ二百萬米弗ヲ建設費トシテ米國ニ支拂ヒ以テ之ヲ回収シ改ノテ湖北、湖南、廣東三鐵路公司ノ共有トナシ三省ハ其ノ合同ヲ以テ廣三鐵道管理局ナル一有限公司ヲ組織シ資本金ハ五百萬元トシ純益ハ之ヲ三分シ其ノ七分ノ三ヲ廣東ニ七分ノ三ヲ湖南ニ七分ノ一ヲ湖北ニ分配スルコトトシ同公司ハ之ヲ以テ香港政廳ニ對スル借款百十萬磅ノ元利償還ノ一部ニ充タリ其ノ後支那政府ハ湖北、湖南ノ粵漢線ヲ國有トセル結果三水線ノ兩省持分即ノ七分ノ四ノ所有權ヲ得残部七分ノ三ハ廣東粵漢鐵路公司ノ所有スル所トナレリ而シテ本鐵路ノ營業狀態ヲ見ルニ全線西江水路ニ沿フテ敷設セラレ水路ハ小蒸汽ノ往來スルヨト前陳ノ如シト雖水道ノ曲折甚シタシテ時間ヲ要ス

支那稅關アリテ貨物ノ検査ヲ爲セリ

## 第四、新寧鐵道

本鐵道ハ斗山ヨリ新寧ヲ經テ北街ニ至ル全長七十哩ノ鐵道ニシテ一千九百六年起工シ一千九百十三年完成シタルモノナリ而シテ本鐵道ヲ經營スルモノヲ寧陽鐵路有限公司トス同公司ハ資本三百三十萬元（拂込済）ニシテ百萬元ノ社債ヲ有セリ資本金ハ在米又ハ南洋ノ出稼人ヨリ之ヲ募集シ一株ヲ五元トシ株式ハ之ヲ外國人ニ擔保ニ入レ又ハ賣渡スコトヲ嚴禁セリ是本鐵道ノ特色トスル處ナガシ本鐵道ハ社長陳宣裕氏ノ刻苦經營ニ成リタルモノニシテ氏ハ新寧縣ノ產ニシテ在米四十年ノ永キニ及ヒ巨萬ノ富ヲ成シタルト共ニ同地ニ於テ得タル經驗トヲ以テ本鐵道ノ竣成ニ殆ト一身ヲ供

シタル人ニシテ其ノ建設ニ就テモ他鐵道ノ如ク外國技師ヲ雇聘スルコトナク自ラ技師長トナリ指勵シテ設計敷設シ材料ノ如キモ己ヲ得サルモノノ外全部自國品ヲ使用シテ完成シタルモノナリ此ノ如キ事情ニ於テ建設シタル鐵道ナルモ亦乘客ヲ主トシ貨物トシテハ見ルヘキモノナシ營業成績比較的良好ニシテ毎年ノ純益二十萬元アリト云フ（帆船）ニアラサレハ交通スルコトヲ得サルヲ以テ外人ニハ

## 第五、潮汕鐵道

本鐵道ハ汕頭、潮州間二十六哩ノ鐵道ニシテ新寧鐵道ト同シク全ク支那人ノ資本ニ依リ敷設セラレタルモノトス抑モ汕潮間ハ極メテ密接ナル關係ヲ有スルニ拘ラス其交通ハ從來韓江ニ依リタルモ潮汕間ノ韓江ハ川幅狭クシテ淺ク民船

鐵道カ米國借款ニ依リ敷設ノ契約成立スルヤ廣東省城ハ遂

ルコト多ク加之直通水路ハ冬季小蒸氣不通トナルノミナラス佛山ハ人口三十五萬ヲ有シ西江流域商業ノ中心ナルヲ以テ旅客收入比較的多ク毎年所得八十萬元營業費ヲ除クモ尙四十萬元内外ノ純益アリト云フ尤モ貨物ノ運送ハ水路ニ依ルモノ多シ

## 第三、廣九鐵道

本鐵路敷設ハ粵漢鐵道借款ニ淵源セリ即チ一八九八年粵漢鐵道カ米國借款ニ依リ敷設ノ契約成立スルヤ廣東省城ハ遂ニ楊子江以南ノ交通ヲ支配スルニ至ルヘキヲ以テ斯クテハ香港九龍ニ據リ南支商業ノ中心ヲ維持セントスル英國ハ其ノ地位ヲ失フニ至ルヘキヲ慮レ即ナ本鐵道ヲ敷設シ其ノ地位ヲ維持ゼンコトヲ圖リ同年九月廣九線敷設ヲ支那ニ要求シ其ノ支那領内線ハ英ノ借款ニ依リ租借地内ハ自國ノ資本ニ依リ建設シタルモノナリ

廣九鐵道ハ英租借地タル九龍半島ノ南端ニ起り北上シテ深圳ニ至ル二十二哩及深圳ヨリ廣東ニ至ル八十八哩合計百十哩ノ鐵道ニシテ前者ハ全ク英國資本ニ依リ建設セラレタル英國鐵道ニシテ後者ハ支那政府カ百五十萬磅ヲ英國ヨリ借款シテ敷設シタルモノニシテ全線ノ開通ハ一千九百十一年十月ナリトス而シテ本鐵道モ前述鐵道ト同シク旅客ノ運送目的トシテ貨物ノ運送ノ目的トセス蓋シ香港廣東間ハ水運極メテ利便ニシテ貨物ハ船舶ニ依ルヲ利益トスルヲ以テナリ

## 第六、豫定線

屢次本鐵道敷設ヲ出願シタリ然レトモ皆其ノ許可ヲ得ナルニ際シ明治三十三年末瓜哇ニ於テ數百萬ノ資產ヲ有スル張煌南ト稱スル者之カ敷設ノ認可ヲ得一九〇四年二百萬弗（後百三十萬弗ヲ追加セリト云フ）ノ潮汕鐵道公司ナル株式會社ヲ組織シニカ敷設ニ著手シ本邦ヨリ技術者ヲ聘シ三五公司ニ一切ノ工事ヲ請負ハシメ明治三十六年六月工事ニ著手シ三十九年十一月竣工シタルモノナリ此ノ如ク本鐵道ハ邦人ノ工事ニ成レルカ故ニ一切ノ設備亦本邦ニ則リ停車場列車切符等皆日本式ナリ

## 一、廣澳鐵道

本線ハ廣東省城ヨリ澳門ニ至ル百二十五哩及陳村ヨリ江門ニ至ル八十哩合計二百五哩ノ鐵道ニシテ初メ一千九百四年支那及葡萄牙ノ二國合資シテ華葡廣澳鐵路公司ヲ組織シニカ敷設ヲ爲ナントシタルモ資金意ノ如クナラス加之利權回收熱ノ勃興ニ際シタルヲ以テ該契約ヲ破棄シ同時ニ會社（商辦廣東鐵路公司）資本金六百萬元設立ノ準備ニ著手シタリシモ一方内部ニ紛争アルト共ニ他方又資金ノ調達ニ苦ミ一時我臺灣銀行ヨリ資金（三百萬元）供給ヲ受クヘキ計畫ヲ立テシモ革命ノ爲頓挫シ其ノ後一九一四年獨亞銀行ニ借款ノ名目ヲ避ケテ建築工事一切ヲ請負ハシメシモ歐戰起リテ全部中止ノ委トナリ其ノ完成期ノ如キハ之ヲ豫測スルコト

ヲ得ス

一六五

## 二、廣重鐵道

本鐵道ハ廣東省城ニ起り西江ニ沿フテ廣西省梧州ニ出テ桂江ヲ湖リテ桂林ヨリ湖南省ニ入り貴州省ノ恩南ニ赴キ更ニ重慶ニ達スル延長約一千哩南支那縱貫鐵道ニシテ中央支那富源ト香港ヲ聯絡セントシタルモノナリ本計畫ハ大正二年七月上海ニ於テ時ノ鐵道總辦孫逸仙ト英商「ボーリング」商會トノ間ニ締結セラレタル八百萬磅借款ノ豫備契約ニ胚胎スルモノニシテ未タ支那政府ノ正式認可ヲ經サルモノナリト雖其ノ將來ハ刮目ニ價スヘキモノトス

## 三、欽渝鐵道

本鐵道ハ廣東省欽州府ニ起り廣西省南寧ヲ經テ貴州省ヲ過キ雲南省城ニ至リテ佛國經營ノ滇越鐵道（雲南海防間）ニ合スル六百六十餘哩及雲南ヨリ四川省成都ニ至ル七百三十哩ノ鐵道ニシテ幾多ノ曲折ヲ經タル後一九一四年二月佛國中法實業銀行ト支那政府トノ間ニ六億法ノ借款契約締結ヲ傳ヘシモ未タ其起工ヲ聞カス然レトモ本線ニシテ完通ノ曉得大正五年七月米國「シームスカレー」商會カ支那政府ニ對シ五鐵道（山西省豐鎮甘肅省寧夏間、寧夏蘭州間、日予ヲ要スヘシ

## 四、株欽鐵道

本線ハ欽州ヨリ廣西省ニ入り西江ヲ橫断シテ湖南省ノ株洲ニ至リ粵漢鐵道ニ聯絡セントスル全長七百餘哩ノ鐵道ニシテ初メ大正五年七月米國「シームスカレー」商會カ支那政府ニ對シ五鐵道（山西省豐鎮甘肅省寧夏間、寧夏蘭州間、日予ヲ要スヘシ

## 一六六

湖南省衡州廣西省南寧間、浙江省杭州同溫州間、海南島瓊州樂會間）ノ千百哩ニ對シ一億米弗ノ借款ヲ締結シタルニ

外線ヲ選擇シタルモノナリ而シテ本線ハ同年株欽鐵路工程局ヲ北京ニ設置シ本線ノ測量ヲ開始シタリト云フモ其ノ後何等ノ消息ナキノミナラス前記「シームスカレー」商會モ此ノ契約ヲ履行スルノ意ナク支那政府亦遂ニ該協約ヲ廢棄スルニ決セリトサヘ報セラル

## 五、南海鐵道延長線

本鐵道ノ延長線ハ前編ニテ述ヘタル如ク南昌ヨリ福建省ニ至ルモノノ外次ノ三線アリ

（イ）南昌ヨリ贛江ニ沿フテ廣東省韶州ニ至ルモノ及韓江ヲ下リテ省潮州ニ至ルモノ

（ロ）南昌ヨリ浙江省ニ至ルモノ

（ハ）南昌ヨリ湖南省ニ至リ萍鄉鐵道ニ連ルモノ

右ノ中廣東省韶州ニ至ルモノハ本鐵道ノ幹線ヲ爲スモノニシテ延長實ニ四百餘哩既ニ大正元年ノ頃南寧鐵道會社ニ於テ實測ニ著手シタリシコトアリシモ第二革命亂等ノ爲之ヲ繼續スルコト能ハスシテ今日ニ至レリ

## 六、廣夏鐵道（惠潮鐵道）

本鐵道ノ前編ニテ述ヘタル如ク南昌ヨリ福建省ニ至ルモノノ外次ノ三線アリ

（イ）南昌ヨリ贛江ニ沿フテ廣東省韶州ニ至ルモノ及韓江ヲ下リテ省潮州ニ至ルモノ

（ロ）南昌ヨリ浙江省ニ至ルモノ

## 第七 輕便鐵道

香山（Houng shan）一、九〇五噸

金山（Kum shan）一、九九四噸

但シ金山號ノ船價八分ノ三ハ支那航業會社所有トス

二、支那航業會社  
本社ハ前記香、廣、澳汽船會社ノ經營スル香港廣東線ニ自家ノ社旗ヲ掲揚セル汽船一隻

佛山（Fat shan）一、二六〇噸

ヲ提供セルノミナラス前記金山號ノ船價八分ノ三ヲ所有シ兩社ノ共同經營トナスモノニシテ較上四隻ノ河船ヲ以テ日曜日ヲ除キ毎日晝夜二回兩地ヲ發船ス而シテ香港廣東間九十哩ノ航海時間ハ約七時間トス

## 三、紹安輪船公司

右兩社ハ共ニ一九〇一年ノ創立ニシテ資本金併セテ五十萬

弗（一株五百弗）株式會社ニシテ株主ハ凡テ廣東在住ノ支那人ナルモ香港政廳ニ登記シ英國旗ノ下ニ定期航海ヲナシ現在所有船二隻ヲ以テ毎日午後香港廣東兩地ヲ出航ス使用

汽船ハ  
廣西（Kwong siu）八七四噸

廣東（Kwong tong）八二三噸

右ノ内廣西號ハ紹安公司、廣東號ハ源安公司ノ所有ニシテ現在ハ香港廣東線及香港澳門線ノ二線ヲ經營スルノミ

ナリ同社ハ本店ヲ香港ニ置キ廣東ニハ Daucon & Co. ロ代

理店トセリ本社ノ廣東香港線ニ使用スル汽船左ノ如シ

支那人經營ノ會社ニシテ大正七年四月香、廣、澳汽船會社ヨリ同社經營ノ澳門廣東般路海生號（總噸數五百噸）ヲ買收シ

第三項 河船航路	
第一 香港廣東線	
一、香港、廣東、澳門汽船會社	
本社ハ一八六七年資本金百二十萬弗（一株十五弗ニテ八萬株）ヲ以テ設立セラレタル英國籍株式會社ニシテ香港在住ノ外國人ヲ主ナル株主トシ香港廣東線ノ外香港澳門線、廣東梧州線並ニ廣東澳門線ヲ經營セシカ大正七年四月廣東梧州線及廣東澳門線ヲ支那人經營ノ西興公司及和發公司ニ賣却シ現在ハ香港廣東線及香港澳門線ノ二線ヲ經營スルノミ	
ナリ同社ハ本店ヲ香港ニ置キ廣東ニハ Daucon & Co. ロ代	
理店トセリ本社ノ廣東香港線ニ使用スル汽船左ノ如シ	
河南（Ho mun）二、四六二噸	

## 一六七

-168-

香港廣東航路ヲ開始シタルモノニシテ廣東ニ於テハ佛商  
Grain, Drevord 商會ヲ代理店トシ一週三回ノ定期航海フナ  
シタツアリ

第一 廣東梧州線

右ノ内萬安公司ハ大正八年三月ヨリ開航シタルモノナリ

第四項 沿岸航路

第一 上海香港廣東線

一、日清汽船會社

右航路ハ大正九年十一月開始シ航路ノ新シキ割合ニ輸入荷

物ノ數量増加シ最近一船二千噸ノ多量ニ上レリ輸出荷物ハ

目下一航二百噸ニ足ラサルモ漸次增加ノ傾向ニアリ思フニ

今年半ヲ經過セハ輸出入共相當ノ發展ヲ見ルヘキ見込ア

リ

一、航路 南支那沿岸航路

一、寄港地 上海、廈門、油頭、廣東（復航ハ廈門ニ寄港

セバ

一、從事船名 巴陵丸、廬山丸、嵩山丸（各一千噸乃至三

千噸級）

一、航海回数 一ヶ月三回（定期表別添ノ通り）

而シテ廣東方面ヨリ北清ニ向ケ本航路ニ依リ輸出セラルル

重要荷物品名ハ大體肉桂、煤竹、燒瓦、支那製藥、皮類、

膠、「ガンナ」袋、鉛、果實、緝物、其他雜貨

北清方面ヨリ輸入荷物ノ主ナル者ハ大體爆竹、小麥、干檳

榔子、石筍、豆、豆粕、落花生、卵子、其他雜貨

リ

一、航路 南支那沿岸航路

一、寄港地 上海、廈門、油頭、廣東（復航ハ廈門ニ寄港

セバ

一、從事船名 巴陵丸、廬山丸、嵩山丸（各一千噸乃至三

千噸級）

一、航海回数 一ヶ月三回（定期表別添ノ通り）

而シテ廣東方面ヨリ北清ニ向ケ本航路ニ依リ輸出セラルル

重要荷物品名ハ大體肉桂、煤竹、燒瓦、支那製藥、皮類、

膠、「ガンナ」袋、鉛、果實、緝物、其他雜貨

北清方面ヨリ輸入荷物ノ主ナル者ハ大體爆竹、小麥、干檳

榔子、石筍、豆、豆粕、落花生、卵子、其他雜貨

リ

一、航路 南支那沿岸航路

一、寄港地 上海、廈門、油頭、廣東（復航ハ廈門ニ寄港

セバ

一、從事船名 巴陵丸、廬山丸、嵩山丸（各一千噸乃至三

千噸級）

一、航海回数 一ヶ月三回（定期表別添ノ通り）

而シテ廣東方面ヨリ北清ニ向ケ本航路ニ依リ輸出セラルル

重要荷物品名ハ大體肉桂、煤竹、燒瓦、支那製藥、皮類、

膠、「GANNA」袋、鉛、果實、緝物、其他雜貨

北清方面ヨリ輸入荷物ノ主ナル者ハ大體爆竹、小麥、干檳

榔子、石筍、豆、豆粕、落花生、卵子、其他雜貨

リ

一、航路 南支那沿岸航路

一、寄港地 上海、廈門、油頭、廣東（復航ハ廈門ニ寄港

セバ

一、從事船名 巴陵丸、廬山丸、嵩山丸（各一千噸乃至三

千噸級）

一、航海回数 一ヶ月三回（定期表別添ノ通り）

而シテ廣東方面ヨリ北清ニ向ケ本航路ニ依リ輸出セラルル

重要荷物品名ハ大體肉桂、煤竹、燒瓦、支那製藥、皮類、

膠、「GANNA」袋、鉛、果實、緝物、其他雜貨

北清方面ヨリ輸入荷物ノ主ナル者ハ大體爆竹、小麥、干檳

榔子、石筍、豆、豆粕、落花生、卵子、其他雜貨

リ

一、航路 南支那沿岸航路

一、寄港地 上海、廈門、油頭、廣東（復航ハ廈門ニ寄港

セバ

一、從事船名 巴陵丸、廬山丸、嵩山丸（各一千噸乃至三

千噸級）

一、航海回数 一ヶ月三回（定期表別添ノ通り）

而シテ廣東方面ヨリ北清ニ向ケ本航路ニ依リ輸出セラルル

重要荷物品名ハ大體肉桂、煤竹、燒瓦、支那製藥、皮類、

膠、「GANNA」袋、鉛、果實、緝物、其他雜貨

北清方面ヨリ輸入荷物ノ主ナル者ハ大體爆竹、小麥、干檳

榔子、石筍、豆、豆粕、落花生、卵子、其他雜貨

リ

一、航路 南支那沿岸航路

一、寄港地 上海、廈門、油頭、廣東（復航ハ廈門ニ寄港

セバ

一、從事船名 巴陵丸、廬山丸、嵩山丸（各一千噸乃至三

千噸級）

一、航海回数 一ヶ月三回（定期表別添ノ通り）

而シテ廣東方面ヨリ北清ニ向ケ本航路ニ依リ輸出セラルル

重要荷物品名ハ大體肉桂、煤竹、燒瓦、支那製藥、皮類、

膠、「GANNA」袋、鉛、果實、緝物、其他雜貨

北清方面ヨリ輸入荷物ノ主ナル者ハ大體爆竹、小麥、干檳

榔子、石筍、豆、豆粕、落花生、卵子、其他雜貨

リ

一、航路 南支那沿岸航路

一、寄港地 上海、廈門、油頭、廣東（復航ハ廈門ニ寄港

セバ

一、從事船名 巴陵丸、廬山丸、嵩山丸（各一千噸乃至三

千噸級）

一、航海回数 一ヶ月三回（定期表別添ノ通り）

而シテ廣東方面ヨリ北清ニ向ケ本航路ニ依リ輸出セラルル

重要荷物品名ハ大體肉桂、煤竹、燒瓦、支那製藥、皮類、

膠、「GANNA」袋、鉛、果實、緝物、其他雜貨

北清方面ヨリ輸入荷物ノ主ナル者ハ大體爆竹、小麥、干檳

榔子、石筍、豆、豆粕、落花生、卵子、其他雜貨

リ

一、航路 南支那沿岸航路

一、寄港地 上海、廈門、油頭、廣東（復航ハ廈門ニ寄港

セバ

一、從事船名 巴陵丸、廬山丸、嵩山丸（各一千噸乃至三

千噸級）

一、航海回数 一ヶ月三回（定期表別添ノ通り）

而シテ廣東方面ヨリ北清ニ向ケ本航路ニ依リ輸出セラルル

重要荷物品名ハ大體肉桂、煤竹、燒瓦、支那製藥、皮類、

膠、「GANNA」袋、鉛、果實、緝物、其他雜貨

北清方面ヨリ輸入荷物ノ主ナル者ハ大體爆竹、小麥、干檳

榔子、石筍、豆、豆粕、落花生、卵子、其他雜貨

リ

一、航路 南支那沿岸航路

一、寄港地 上海、廈門、油頭、廣東（復航ハ廈門ニ寄港

セバ

一、從事船名 巴陵丸、廬山丸、嵩山丸（各一千噸乃至三

千噸級）

一、航海回数 一ヶ月三回（定期表別添ノ通り）

而シテ廣東方面ヨリ北清ニ向ケ本航路ニ依リ輸出セラルル

重要荷物品名ハ大體肉桂、煤竹、燒瓦、支那製藥、皮類、

膠、「GANNA」袋、鉛、果實、緝物、其他雜貨

北清方面ヨリ輸入荷物ノ主ナル者ハ大體爆竹、小麥、干檳

榔子、石筍、豆、豆粕、落花生、卵子、其他雜貨

リ

一、航路 南支那沿岸航路

一、寄港地 上海、廈門、油頭、廣東（復航ハ廈門ニ寄港

セバ

一、從事船名 巴陵丸、廬山丸、嵩山丸（各一千噸乃至三

千噸級）

一、航海回数 一ヶ月三回（定期表別添ノ通り）

而シテ廣東方面ヨリ北清ニ向ケ本航路ニ依リ輸出セラルル

重要荷物品名ハ大體肉桂、煤竹、燒瓦、支那製藥、皮類、

膠、「GANNA」袋、鉛、果實、緝物、其他雜貨

北清方面ヨリ輸入荷物ノ主ナル者ハ大體爆竹、小麥、干檳

榔子、石筍、豆、豆粕、落花生、卵子、其他雜貨

リ

一、航路 南支那沿岸航路

一、寄港地 上海、廈門、油頭、廣東（復航ハ廈門ニ寄港

セバ

一、從事船名 巴陵丸、廬山丸、嵩山丸（各一千噸乃至三

千噸級）

一、航海回数 一ヶ月三回（定期表別添ノ通り）

而シテ廣東方面ヨリ北清ニ向ケ本航路ニ依リ輸出セラルル

重要荷物品名ハ大體肉桂、煤竹、燒瓦、支那製藥、皮類、

膠、「GANNA」袋、鉛、果實、緝物、其他雜貨

北清方面ヨリ輸入荷物ノ主ナル者ハ大體爆竹、小麥、干檳

榔子、石筍、豆、豆粕、落花生、卵子、其他雜貨

リ

一、航路 南支那沿岸航路

一、寄港地 上海、廈門、油頭、廣東（復航ハ廈門ニ

ハ油頭ニ寄港スルコトアリ

第一 支那航業會社

第二 廣東天津線

第三 舟船名

第一、六五〇 二二八八 三七七一九一

第四 隆時船

一七〇

廣東、香港、上海、威海衛、芝罘、天津間ノ航路ニシテ左記二隻ヲ以テ略ホ十二日一同位ノ準定期ヲ履行ス

船名:

總噸數:

長:

幅:

員:

深:

惠州 二、〇〇一 二六七四〇二二一、七

燕州 二、〇〇一 二六七一四〇二二一、七

二、印度支那航業會社 前記支那航業會社ト略ホ同一地ニ寄港シ一ヶ月同一回位ノ定期ニシテ使用船モ一定セス。荷物ノ都合ニ依リテハ臨時船ヲ配ス。現在使用船左ノ如シ

船名:

總噸數:

長:

幅:

深:

捷生 二二五五 二九〇四〇〇一六二

第三 廣東臺灣線

一、大阪商船會社(打狗廣東間)

臺灣總督府命令線ニシテ臺灣糖ヲ當方面ニ輸出スル目的ヲ以テ開始セラレタル航路ナルモ目下臺灣糖ハ内地ノ需要多ク當地ニ多量ノ輸出ヲ許サナル狀態ニテ積荷少ク

復航ニハ砂糖包裝用「アンペラ」ヲ主トシ油頭、廈門又ハ臺

灣在住支那人日用食量品及雜貨等ナリ本線ハ打狗ヲ基點トシ往復共廈門、油頭、香港ニ寄港シ廣東ニ至ル航路ニシテ現

在使用船一隻ヲ用ヒ二週一回ノ定期ヲ履行シツツアリ使用

輪明細左ノ如シ

三、長江ヨリ來ル米及豆粕船

米ハ主トシテ蕪湖ヨリ輸入スルモノニシテ南洋米トノ關係

ハ油頭ニ於ケルト同様ナルモ之ニ從事スル臨時船ハ甚タ少

シ

豆粕ハ專ラ漢口出ノモノニテ是亦其數甚タ少シ

右臨時船ノ多クハ日本船又ハ英國船ナリ

第五項 廣東ニ於ケル船舶ノ種類

船頭船 此船ハ專ラ諸貨物運送ニ用ユ

頭船 此船ハ船頭ヨリ稍ヤ小形ニシテ沿海ノ通商船ナリ

船胸ハ四方ニ掩物ナク船ノ横ニハ鐵條ヲ以テ堅固ニ打付

ハ多カラス

二、北清ヨリ來ル豆、豆粕及落花生船

芝罘、牛莊、大連、青島等ヨリ豆、豆粕及落花生ヲ搭載シテ

當地ニ直航スルモノニシテ時季ニ依リテ一定セサルモ其數

トモ一昨年來日本炭炭價暴騰ノ爲メ輸入極メ云少ク其代ガ

ニ大連ヨリ撫順炭基隆ヨリ臺灣炭海防ヨリ「ホンゲイ」炭ヲ

輸送スル船舶ノ入港ヲ見ルニ至レリ右運炭船ノ大部分モ日

本カリトス

本港ニ於ケル日本炭ハ主トシテ三井洋行ニ依リ直輸入ナルモノニシテ運炭船ノ多クバ日本船ニシテ復航ハ凡テ空船ニテ下江シ香港ニテ積荷ヲ得テ各方面ニ向フモノトス然レ

トモ一昨年來日本炭炭價暴騰ノ爲メ輸入極メ云少ク其代ガ

ニ大連ヨリ撫順炭基隆ヨリ臺灣炭海防ヨリ「ホンゲイ」炭ヲ

爲メ製シタル荷船ナツ船尾ニ附スレ體ノ外ニ尙ホ巨大ナ

子始庭  
此船ハ少庭ヨリ稍ヤ小

一挺ノ櫂ヲ船首ニ立テ以テ船ノ方向ヲ定ム  
蟹船 南西ノ諸縣ニ通商スル所ノ荷物船ナリ  
搬米艇 橫狹キ米船ニシテ其板張ノ上ニ塔ノ形ニ米ヲ積重

子船解此船ノ沿岸ノ和人外國人之ヲ、アリバ  
バボートト唱フ上鞋ノ形ニ似タルヲ以テナリ船主ノ尖  
圓ナル最モ他ニ異リ二人ヨリ五人ノ漕手悉ク船首ニ面シ  
テ船ヲ行ル旅客ハ皆倭キ遮陽ノ下ニ平臥ス此船ハ専ラ急

麻陽船 廣東西江ヨリ内地ニ航スル鹽船ニテ老龍船ニ似テ  
遙カニ大ナリ船ノ長サ百二十尺幅二十尺深八尺ヨリ九尺  
ニ至ル船内凡ソ三十個ノ間仕切アリ甲板ヨリ屋根ノ高サ  
七八尺其ノ屋根弓橋形ニシテ常ニ据付ニハ只荷物裝入ノ  
時其甲板ヲ取り外ス耳此船長ノ家族ハ常ニ船内ニ居住ス  
巡 船 此查船ハ種々ノ形アリ其長サ六十尺ヨリ百尺ニ至  
ル砲數六門ヨリ二十門ヲ載ス却テ抽稅或ハ賊難ノ用ニ備  
ヘ或ハ金銀運送等ニ充ツ各船乘込ノ船長ハ悉ク下等ノ兵  
官ヲ以テ之ニ任ス  
扒 船 此船モ小形ノ砲船ニテ巡船ニ比スレハ稍小ナリ  
文書艇 則チ郵便遞送ノ船ナリ  
横水渡 廣東河中ニアル官府准許ノ渡船ナリ弓橋形ノ蓆ヲ  
沙 瓶 或ハ細艇トモ云フ底淺キ船ニテ人常ニ廣東三板ト  
唱ニ其長サ凡二十四尺幅六尺餘船ノ中間ニハ四角ナル竹  
蓆ヲ以テ屋根ヲ造リ船客ヲ入ル、コト凡五六十人船尾ノ五  
尺程ノ板敷ニ三四名ノ婦人アリテ水手ニ充ツ（此等ノ男  
ハ悉ク他ニ水夫或ハ小形ノ河船ニ船主トナリ一家ニ住居  
セス）婦人中ノ老長ナルモノニテ船ヲ取り幼年者之レニ  
手傳フ此船ノ水入凡一尺内外ナリ

速ラ要スル旅行ニ用ユ  
帆 船 或ハ三板トモ云フ横狹キ長船ニテ其底極メテ平力  
ナリ櫓或ハ艤ヲ用ニ船客ヲ入ルコト二三人ヨリ二十人迄  
ナリ最モ小ナルモノハ僅ニ一挺ノ艤ヲ用ユル而已  
龍 船 此船艤版ノ一種ニシテ長サ七十尺ヨリ一百尺ニ至  
ル幅僅ニ三尺五月五日ノ競渡ニハ五十人ヨリ八十人ヲ以  
テ駛行ス常ニ一村一船ハ必ス祭日ノ爲メニ備置ケリ不用  
ノ時ハ水泥中ニ埋メテ破損ヲ防クコトアリト云フ  
長 龍 三板船ノ長キ形ニテ外國人ハ之ヲ蛇船ト唱フ多ク  
ハ河中ノ盜賊ノ用ニ充ツ  
雜貨艇 諸雜品ヲ積入レ持賣商賈ニテ用ユル船ナリ  
南無艇 南無阿彌陀佛ノ祈禱船ト唱フル大形ノ遊船ニシテ  
最モ便利ニ製造セラレ其前面ニハ船家ノ信仰者ノ爲メニ  
念經スル場所ヲ構ヘリ  
住家艇 此船ハ貧民住居ノ屋船ニテ廣東三板船ノ一種ナリ  
華 船 一名花艇又ハ「フラボート」廣東河中ニアル巨  
大ノ遊船ニシテ最モ美麗ニ裝置シタル食室ヲ設ケ種ノ  
彫刻物或ハ彩色ノ玻璃ヲ以テ其窓ヲ飾リ専ラ富有ノ遊客  
此船ニ舍食ス夏節ニ際シ花籠或ハ花環等ヲ以テ船體ヲ飾  
立テタル時ハ實ニ外國人ノ目ヲ驚カス程ナリ  
艇 此船ハ三十餘年前西洋人ノ創意ニ依リ廣東人ノ始

## 第一節 通 信

第一項 郵便

メテ製造シタルモノナリ其小ナルモノハ長サ一丈餘ニシテ廣東省城附近江内ノ渡船ニ用ヒ其大ナルモノハ長サ十丈位ニシテ其乗組水夫ハ船ノ大小ニヨリ五六人乃至二十人位ニテ其後部ニ在ル車ヲ踏ミ旅客及ヒ貨物ヲ運搬セリ此ノ車艇ハ廣東各江流域中汽船ノ駛行セナル處ニハ各府縣何レノ處ニモ航行セザルナシ目下廣東省河内アルモノ大小合セテ八十餘隻ナリト云フ俗ニ人力車艇ト稱ス

## 第一節 通 信

### 第一項 郵 便

第一 支那郵政局

廣州即チ廣東省城ニ廣東郵務管理局ヲ置キ廣東全省ノ監督事務ヲ掌握ス現今一九二〇年來ノ郵務長ハ英國人「エフ・エニクソン」氏ニシテ外ニ外國人職員三名アリ廣東全省ニ於ケル局所數ハ一等局三、二等局九十一、三等局二十九、支局八、外ニ郵寄代辦所八百九十三合計千二十四アリテ之ヲ廣州、汕頭、瓊州、北海ノ四區ニ分割シ且其管理事務ノ一部ヲ分掌セシメ居レリ

大正七年未ノ統計ニ依レハ廣東全省ノ通常郵便物引受數ハ又小包郵便物引受ハ僅カニ九萬三千六百餘個ニシテ我大正七年度中ノ最少引受數ナル鳥取縣ノ十二萬三千二百餘個ヨリモ少シ廣東市ニ於ケル現業局所ハ長堤總局(大正六年竣八萬餘ヨリ少シ

由來支那ニ於ケル郵便業務ハ支那一國ノ管掌スル所ニ非ヌシテ日本郵便局シテ日米英佛露獨ノ各國ハ支那開港場ニ其局舍ヲ設ケ略本國ト同一制度ノ下ニ各自業務ヲ運行シ居リテ支那ニ對シ郵便行政權ノ完全ナル執行ヲ阻害シ居ルハ頗ル奇異ノ現象ト云フヘシ然シテ北京政府又ハ所在地官憲ニ反對行動ヲ企圖スルモノハ外國郵便局ニ信書ヲ託送シテ各地ノ同志ト連絡ヲ採りツツアリサレハ戒嚴令布告等ノ場合ト雖通信取締ニシテ充分ナル效果ヲ擧クル事能ハシシテ國家ノ體面ヲ保持スル點ニ於テ甚シキ恥辱ヲ蒙リツツアリ左ニ廣東市ニ於ケル各國郵便局ノ全班ヲ掲ケ其概略ヲ記述スヘシ

七

**REEL No. 1-0745**

四四〇

開局ハ明治三十九年十二月十五日ニシテ在外日本郵便局トシテ最後ニ設置セラレタルモノニ屬シ所在地ハ沙面英吉利居留地ノ中通ニ在リテ邦人商社ノ集合セル處ニ局舎ヲ設ケ其業務ハ電信電話及簡易生命保険ヲ除キタル我郵便業務ノ全般ヲ取扱ヒ開港場區域内ニハ内外人ノ如何ヲ問ハス總テ其集配ヲ爲シ居レリ取扱數ハ日支間貿易ノ増進ニ伴ヒ日ニ月ニ著シク增加シツアリテ殊ニ商品ヲ小包郵便トシテ取寄スルモノ甚タ多ク之等ハ本邦人ノミナラス支那人ニ於テモ我機關ヲ利用スルモノ少カラス助便トシテ支那郵便局若クハ他外國郵便局ヲ經由シテ其船舶ニ託送スルノ狀態ナルカ當局ハ頗ル變則ナルモノニシテ當地香港間ニ我國旗ヲ揚クル郵便船ノ出入ハ高雄廣東間二週一回(明治四十三年開始)蘇州丸一隻上海廣東間二十日一回(大正九年十一月開始)巴陵丸及蘆山丸ノ二隻交互入港スルノミナルヲ以テ我發著郵便物ノ殆ト全部ハ閉塞ノ儘當地英國郵便局ヲ介シテ該局郵便物ト共ニ英國汽船ニテ香港間及發著シ香港郵政廳ニ於テ本邦船又ハ外國船ニ積卸フナス若シ夫レ香港廣東間ニ於テ日々我汽船ヲ航走セシメンニハ獨リ我邦郵便業務ニ利益ナルノミナラス其出入時間ノ如何ニヨリテハ却テ他外國局ヨリ郵便物ノ搭載ヲ求ムルニ至ルヘク爲之香港廣東在留邦人ノ便宜少カラザルヘシ

香港廣東間陸路交通機關トシテハ明治四十四年廣九鐵道百一哩ノ開通ヲ見タルモ直通列車ノ僅カニ一日二回ノ發著

スト進言セリ當時ノ兩廣總督(李鴻章ナリシト云フ)ハ漫然此進言ニ贊テ表シタルヲ奇貨トシ第一ニ十八甫ニ佛國郵便支局ヲ設ケ漸次五個所ノ多キニ及ヘリ然レドモ現ニ至リテハ殆ト廣局同様ニシテ何等ノ價値ヲ有セラレドモ其獲得シタル權利ヲ確實ニ保全シ居レルハ誠ニ羨望ニ絶ヘサム次第ナリ

其所在地左ノ如シ

一、十八甫、二、惠愛街(元佛國領事館跡)三、第七甫、

四、歸德門、五、大新街

沙面本局合ハ千九百二年ノ新築ニシテ當時ノ北京駐在公使タリシ前記「ボーリルボー」氏及ヒ領事「ハードウイン」氏ハ其礎石式ニ臨席シ且所有郵便船二隻ヲ「播賓」「哈德安」ト命名シ香港廣東間ノ往復ニ從事セシメタリシカ大正二年ニ至リ該汽船ハ遂ニ法華輪船公司ノ手ニ移リテ専ラ支那人其株主トナレリ次テ粵航公司ト變更シタルカ大正七年三月ニ至リテ遂ニ上海ニ廻航シヨリ廣東ニ其委ヲ見ル能ハサ高腳開ト爲ズノ一節アリ爲之支那郵政ニ關シ特種干緊ヲ把持スルニ至レリ

三、英國郵便局

沙面英吉利居留地英國總領事館檣内ニ在リテ一般業務ヲ掌り居レルモ總元香港郵政長官ノ管理ニ屬シ副領事之カ局長又兼本事務ハ專テ支那人書記ニヨリ六運行セラル而シテ置

ハ當地香港間郵便物ノ遞送上ニ得ラル利便甚タ妙ク僅カニ支那郵便局カ「汽車送」ノ指定アル香港行ノモノヲ搭載シ居レルニ過キス元來本鐵道ハ往々士匪ノ襲來ニ會シ列車ノ運轉ヲ停止セラレ旅客ノ金品等ヲ掠奪セラルコトアルヲ以テ遞送ノ安全保シ難ク我局ハ未タ本線ヲ利用スルニ至ラス

當地ト東京間ノ郵便物最速達日子ハ八日目ニシテ百六十時間二十分ヲ要スルモ船足ノ運送寄港地ノ如何ニヨリ十日乃至十二三日ヲ以テ普通トス

在外郵便局ノ經營ハ或ル一二局ヲ除クノ外其收支相償フモノニ非ス然レトモ之アルカ爲ミニ蒙ル支那人邦人ノ利益莫大ニシテ國力發展ヲ促カスニ至ルヘシ

二、佛蘭西郵便局

佛國ハ沙面佛國居留地ニ在リテ宏大ナル局舎ヲ有シ省城内外ニ五支局ヲ設置シ大正二年ニ至ル迄ハ自國ノ郵便船二隻ヲ以テ日々當地香港間ヲ往復シ居タルカ歐洲戰開カレテ以來終ニ之ヲ廢スルニ至レリ

尚同局ノ經歴ヲ略記スレハ左ノ如シ

一千九百〇一年(明治三十四年)ノ頃佛領東京總督「ボオルボー」氏ハ兩廣地方ヲ佛國ノ勢力範囲内ニ置カシコトヲ企圖シ當時ノ廣東駐在佛國領事「チャーレス・ハードウイン」氏ニ命シ支那官憲ヲ説クニ佛領印度支那ニ出稼セル廣東人ハ其收得金ノ送金方法ナキ爲メ徒ニ浪費ノ弊ニ陥ルハ貴國ノ爲メ不得策ナツ之カ救濟方法トシテハ宜シク城内外便宜ノ地ニ佛國郵便局ヲ開設シ送金ノ利便ヲ得セシムルニ如カ

氏ニ命シ支那官憲ヲ説クニ佛領印度支那ニ出稼セル廣東人ハ其收得金ノ送金方法ナキ爲メ徒ニ浪費ノ弊ニ陥ルハ貴國ノ爲メ不得策ナツ之カ救濟方法トシテハ宜シク城内外便宜ノ地ニ佛國郵便局ヲ開設シ送金ノ利便ヲ得セシムルニ如カ

モ搭載シ居レルカ茲ニ他ニ類例カキハ香港郵政廳ニ年額六十弗ヲ納入セハ廣東ノ甲商社ト香港ノ甲商社(同一社)間ト發受スル信書及業務用書類ヲ一定ノ箱ニ納メテ鎖鑰ヲ施シ直ニ郵便船ヲ介シテ發受スルコトヲ得如之ハ廣東香港間ノ發著郵便物ノ數量ヲ輕減スルノ便法ナルカ歐洲戰發生以來通信取締ノ必要上停止シタリ

四、獨逸郵便局

沙面英國居留地獨逸領事館内ニ設ケラレ其所屬ハ上海ニ於ケル在支那獨逸領事監督官管理ノ下ニ在リタルモ歐洲戰開始以來(大正三年八月)閉鎖セラレタリ

第二項 電 要

支那各地ノ支那電報局ハ北京交通部電政總監ノ管轄ス各省ニ於ケル電報事務ハ電政總監ニヨリ任命サレタル電政監督ノ監督處理ニ屬ス電政監督ハ各省省城ニアリテ省城電報局長ヲモ兼任任ス廣東省電政監督ハ廣州電報局ニ在リテ省内ノ電報局ヲ管轄ス省內ノ電報員總數ハ四百五十人ナリ省内ノ電報ノ主ナルモノ四線アリ

一ハ東江三沿フモノ二ハ西江三沿フモノ三ハ北江竝ニ粵漢

シタル積沙地ヲ埋立テ沙面ト稱シ東西八町南北二町半ノ植  
圓形ノ島地ニシテ面積凡ソ四十四エーカー西歷一八五九年  
即天津條約締結ノ翌年英佛兩國カ三十二萬弗ヲ投ジテ埋  
立工事ヲ起シ一八六年竣工セルモノニシテ南西ハ江ヲ隔  
テ河南花地ト相對セリ然シテ此地ヲ區分シテ西方五分ノ  
四ハ英國ニ爾餘ノ五分ノハ佛國ニ各其所屬ヲ異ニシ兩租  
界共橋梁ニヨリ支那市街ニ通ス北方ノ門ハ英國工部局ノ監  
理下ニ置キ英國人ニ委託シテ其等ノ工事ヲ管理シテ其等ノ  
居留地ノ警備本省人ノ氣風ハ剛健頑強ニシテ時ニ外人ニ  
對シテ暴行ヲ加ヘ反抗ノ態度ヲ現ハセシ事アリシノミナラ  
ス由來本地ハ土匪海賊ノ徒多ク城市附近ニ現ハルコト亦  
尠ラナルヲ以テ當居留地ハ其保安警備ニ少分ノ注意ヲ拂ヒ  
世人或ハ之ヲ詐シテ武裝居留地ト稱スル又故ナキニアラサ  
ルナリ即チ居留地ハ監督ノ下ニ閘門ヲ設ケテ本地トノ交通  
ヲ警備セルノミナラス島ノ四圍各所ニ設ケラレタル小碼頭  
荷揚所ノ如キモ夜間ハ一切支那篷船等ノ之ニ寄泊スルコト  
ヲ禁シ通行支那人ニ對シテモ其風體ノ怪シキモノハ一々之  
ヲ誰可シテ取調ヘ或ハ攜帶品ヲ改メ疑ハシキモノハ之ヲ引  
上クル等充分ノ注意ヲ拂ヒ且ツ夜間十時ヲ過クレハ全ク閘  
門ヲ鎗鎖シテ肝要ノ用件ヲ帶フルモノノ外一切支那人ノ出  
入ヲ禁ス等ノ取扱ヲ爲シ居レリ又一般支那人ノ居住ヲ禁シ  
單ニ外國人使用支那人ノミ居住ヲ許ス

第十四章 居留地

於ケル外國人居留地八處

鐵道ニ沿フモノ四ハ廣東省ノ西南部ヲ貫クモノトス  
以上ノ四線ハ各十乃至二十ノ支線ヲ有シ互ニ聯絡セリ  
東江ニ沿フモノハ福建省ニ連絡シ西江ニ沿フモノハ廣西省  
ト連絡シ北江並ニ粵漢鐵道ニ沿フモノハ廣西省及湖南省ト  
連絡シ省内西南部ヲ貫クモノハ安南ト連絡ス  
外國ヘノ電信ハ一旦香港ニ送ラレ香港ヨリ海底電線ニ依ル  
廣東省ニハ總數八十七ノ電報局アリ其内廣東香港油頭ヲ一  
等電報局トシ廣東沙面佛山高州海口潮州府ヲ二等電報局ト  
シ其他ヲ三等電報局トス  
普通電報料左ノ如シ

外國語	一語	九仙
支那語	一語	六仙
至急電報料ハ普通電報料ノ三倍トス		
犬稅(一疋)	十	弗
自轉車稅(一基)	二十	弗
倉庫稅	五十	弗
土地稅	同上	(毎ロット)ノ一分 (ニ就キ)
水道稅	同上	一分
營業稅	五十	弗
生糸輸出稅	一ヶ年	一ヶ年
一俵ニ付キ十仙		

此より舊城外ニ於ケル要區トシテハ八十八市、第十甫方面ナリ  
テ最殷賑ナル區域トシテ附近ハ支那人ノ住宅多ク小賣商業ヲ  
營ムニ適スルヲ以テ地價家屋ノ價モ從テ廉ナラス。  
西堤、長堤方面ノ地價ハ一井（十尺平方）約七八百元ニシ  
テ家賃ハ三階乃至四階建一棟約二三百元（毎月）沙面ハ十  
地ニ限リアリテ殊ニ近來ハ家屋不足ヲ訴フルコト甚ダシク  
地價ト家賃ノ高キコト支那街ノソレト同日ノ談ニアラサル  
ナリ

沙面ハ居宅地トシテ最モ適當ナル安全地帶ナレトモ上述ノ  
如ク殆ンド目下家屋増建ノ餘地ナク此上多クヲ容ルルニ可  
能ハナル可ク勢ヒ將來ニ於テハ他ニ適地ヲ求メサル可ラ  
ス

沙面ノ對岸ナル河南ノ地ハ珠江ノ南岸ニ位シ近來漸ク人口  
ノ密度ヲ加ヘタリト雖對岸ナル廣東市街トノ交通ハ今尙舊  
時ノ如ク渡船ニ依ルヲ以テ其不便甚シク（清朝ノ終ニ於テ  
海珠暗礁ヲ基礎トシテ架橋ヲ企テタルモノアリシモ遂ニ  
止メタリ）加フルニ土地湿润ニシテ外國人ノ居住ニ適七  
最モ適地トシテハ先ツ大沙頭埋立地ナルヘク此地ハ市ノ東  
廣九鐵路大沙頭驛ノ側ニアリテ沙面ヨリ遙ニ廣キ地積ヲ有  
シ市街トノ交通モ亦便利ニシテ將來或ハ第二ノ沙面トナル  
ノ時ノ來ルヘク觀察セラル之ニ次ラハ沙面ノ對岸ニ位スル  
芳村埋立地ナルヘシ次キハ稍遠キモ東山ナルヘシ東山ハ  
布ノ東約一哩ノ距離ニアリテ大沙頭驛ヨリ滾車往復ノ便ア  
リ又水路交通ノ便モアリテ其發展ハ近來驚クヘキ程急激ナ

林葆暉陸榮廷及岑春煊ノ七名ヲ政務總裁ニ選舉シタルモ孫文ハ辭シテ上海ニ赴キ爾來軍政府内部ニハ岑春煊榮廷ヲ據ケル政學會ノ勢力益々增大シ孫系ノ民黨ハ次第ニ勢力ヲ失墜シ國民黨ノ國會議員ハ大部分上海ニ引揚ケタリ一方唐紹儀ハ南方儀和代表トシテ上海ニアリシモ北方代表ノ資格問題並ニ舊國會ノ處分問題等ニ關シ南北ノ妥協更ニ進捗セル折柄南北ノ統一ヲ急ケル岑春、煊陸榮廷等ハ時ニ徐世昌内閣ト氣脛ヲ通シ軍政府ヲ純政學會系ノ手ニ收メテ其目的ヲ達セント欲シ八年九月陸榮廷ヲ南方ノ大總統ニ選舉セント企テ大ニ民黨ノ反感ヲ買ヒ十月非常國會ハ岑春煊ノ彈劾案ヲ通過シタリ右ニ對シ政學會ハ本件不信任案採消シニ躍起トナリ遂ニ唐繼堯及莫榮新ヲ動カシテ之ニ抗議セシメ免ニ角不信任案ヲ今一應審査會ニ附議スルコトトシテ一段落ヲ告ケタル處九年二月在廣東雲南軍統理問題ニ關シ政學會ノ有力者李根源及民黨有力者李烈鈞ノ間ニ衝突起ソ唐繼堯ハ李烈鈞ヲ援ケ陸榮廷及莫榮新ハ李根源ヲ援ケテ遂ニ戰端ヲ開クニ至リ岑春煊ノ居中調停ニヨリ大事ニ至ラスシテ落着セルモ三月ニ至リ唐繼堯ハ政務總裁ヲ辭シ次テ伍廷芳又上海ニ歸リ六月三日孫文伍廷芳、唐紹儀、唐繼堯四總裁ノ名義ヲ以テ別ニ上海ニ軍政府ヲ設ケテ廣東軍政府ニ對抗シ廣東軍政府ハ之ヨリ先五月非常國會ヲ召集シテ政務總裁ノ補缺選舉ヲ行ヒ能克武劉顯世及溫宗堯ノ三人當選セリ然ルニ八月福建漳州ニアリタル陳炯明カ孫文等ノ援助ヲ受ケ回吳ノ師ヲ起スヤ連戦連勝廣東ニ於ケル廣西派及政學會派ノ

リ米國人ノ經營ニ係ル宏大ナル學校、教會堂、住宅等モアリ  
其他外國人ノ居住スル者日一日ト多キヲ加へ地價ハ一井六  
十元乃至百五十元ヲ稱フルニ至レリ又商戸ヲ構フル上ニ於  
テハ市中目抜キノ所ニ店舗ヲ構ヘ支那人ノ間ニ伍シテ営贏  
ヲ爭フハ商人トシテノ理想ナレトモシカモ當地ハ適當ナル  
家屋ヲ得ル事ノ困難ト開店後ニ於ケル維持經營ノ頗ル困難  
ナルアリ之外國人ノ此地商業ニ手ヲ染メシヨリ相當久シキ  
年月ヲ閱スルト雖モ今尙ホ十年前ト同シ日本商店モ亦其  
數ヲ加ヘサル所以ナリ左ニ家屋難ト經營難トヲ述フヘシ  
家屋難、例へハ今茲ニ日本人カ商店ヲ支那街ニ開設センカ  
第一ニ頂手金ト稱シ前借家人ヨリ造作銀及借家權（譲渡シ  
料ヲ意味スルモノ）ヲ支拂ハサルヘカラス、十八甫ノ如キ  
殷賤ナル場所ニ於テハ頂手銀三千元乃至六千元ノ多額ヲ要  
シ、此外按櫃銀即チ敷銀ヲ預ケ及ヒ批頭ト稱シ家賃一ヶ月  
分ニ相當スル手數料ヲ徵收セラルモノトス尙其他ニ店舗  
模様替等多額ノ費用ヲ要ジ合計五千乃至八九千元ノ資本ヲ  
開店當初ニ於テ固定セシメサル可カラス如斯狀態ナレハ少  
資本ノ個人商店ナトハ容易ニ其苦痛ニ堪ヘ得サル所ナリ、  
尤モ長堤方面ノ如キ稀ニハ頂手金ヲ要セサルモノモアレハ  
家屋問題ハ難ナリト雖モ之ヲ以テ絕對的ノモノトハ云フヲ  
得ス

第十五章 公私ノ施設

## 第二節 支那官德及各種施設

自ラ自國三輸入販賣セルコド第三日本商人之ニ對抗シル  
忍耐力ノ乏シキ等ヲ擧ケサルヘカラス殊ニ第三項ニ至少テ  
ハ邦人ノ通有性ニシテ甚タ慨嘆ニ耐ヘサルナリ。一曰く  
概シテ支那街ニ店舗ヲ持タントスルモノハ直接需要者ニ供  
給シ且ツ小卸賣家ヲ兼ヌルモノナレハ各地方ニモ販路ヲ拓  
クヲ至リテ漸次經營容易トナルベシサレハ其成功ハ期シ難タカルベ  
通曉シ永住ノ覺悟ヲ以テセサレハ其成功ハ期シ難タカルベ  
シ

## 第十五章 公私ノ施設

### 第一節 支那官衙及各種施設

#### 第一項 廣東軍政府

民國六年六月北京ニ於テ正式國會解散セラルルヤ孫文ハ之  
ヲ以テ憲法破壞ナリトシ國會議員及海軍ノ一部ヲ率ヒテ廣  
東ニ來リ廣東軍政府ヲ設ケテ自ラ大元帥トナレリ然ルニ西  
南護法各省殊ニ廣西ノ陸榮廷ハ孫文ヲ大元帥ニ推戴スルヲ  
好マス暗中飛躍シテ西南各省督軍ノ贊同ヲ得、民國七年一  
月西南護法聯合會ヲ廣東督軍署内ニ開キ正會長ニ岑春煊ヲ  
副會長ニ陸榮廷ヲ舉ク軍政府改造問題ヲ提ケテ孫文及純民  
黨ノ國會議員ニ肉迫シ獨裁制ヲ改メ總裁合議制ヲ規定セル  
中華民國聯合政府組織大綱案ヲ一氣ニ議決シ去リ五月ニ至  
リ之ヲ非常國會ニ提出スルヤ豫て陸榮廷ハ指金ニヨリ盛ニ  
議員ノ買收ニ努力シタル非孫派ノ運動效ヲ奏シ大多數ヲ以  
テ本案ヲ通過セリ依テ孫文ハ直チニ國會ニ辭表ヲ提出シタ

勢力の根底ヨリ復サレ奉る燈及莫榮新ノ形式の三軍政府及廣東自主取消シノ宣言ヲ爲シ十月末上海ニ逃レ同時ニ陳炯明省城ニ入ツ上海軍政府ノ命令ニヨリ廣東省長兼專軍總司令ニ任セラレ次テ十一月末孫文伍廷芳唐紹儀廣東ニ來リ十二月三日軍政府ヲ重組シタリ現在ノ軍政府ノ督軍鎮守使道尹ノ職ヲ廢シ各縣知事省長ニ直轄ス軍政府ハ名義上廣東湖南、貴州、雲南、四川等ヲ基礎トセルモノアルモ實際ハ軍政府ノ威令廣東省以外ニ行ハレス其他ノ各省ハ自治ノ名ニ隠レテ北京廣東兩政府ニ對シ中立的態度ヲ取レル有様ナリ

軍政府省政府南方海軍及粵軍組織一覽表左ノ如シ

廣東軍政府職員表									
政務總裁									
同	同	同	同	內務部長	財政部長	交通部長	陸軍部長	司法部長	外交部長兼署財政部長
王	湯	伍	孫	劉	唐	唐	陳	徐	孫
伯	廷	廷	顯	機	紹	燭	耀	芳	文
群	光	芳	謙	明	堯	世	文	儀	署理交通部長
海	軍	部	長						

**REEL No. 1-0745**

8 / 11

**REEL No. 1-0745**

8112

第三區善後處長	第六區善後處長	第七區善後處長	第八區善後處長	第九區善後處長
香山善後處長	第十二區善後處長	第十一區善後處長	第十二區善後處長	第十一區善後處長
第三支隊司令	第八支隊司令	第一路司令	第二路司令	第三路司令
第一豫備隊司令	第二豫備隊司令	第一豫備隊司令	第一豫備隊司令	第一豫備隊司令
警備遊擊隊第三司令	警備遊擊隊第一司令	警備遊擊隊第二司令	警備遊擊隊第三司令	警備遊擊隊第四司令
警備遊擊隊第二十七營長	警備遊擊隊第二十統領	警備遊擊隊第十一統領	警備遊擊隊第十統領	警備遊擊隊第一統領

丘黃李陳鐘陸揚陳翁黃林陳黃蔣羅鄭鄧黃胡葉洪季陳熊  
耀鳳安小景蘭坤小式明俊炳大紹潤本土漢兆炳德  
西綸奕邦缶棠清如缶亮堂延光偉斌雄培段桓卿舉麟采春略

省地方農事試驗場  
普濟醫院總理  
廣東醫院  
廣三鐵路局長  
填山公所總理  
郵政局總理  
農業局  
廣治鹽務修整私統領  
圖書館  
長

謝高吳孫陳夏盧黎陳李鄭  
英達重乃俊鑑植  
伯齡伯科生民瀟然誠儀

得テ愈々組織完備シ民國ニ於ケル一大勢力トシテ且ツハ各

所ノ具體的代表機關トシテ重キラヌニ至レリ

其內容組織等ハ大各我國ノ商業會議所ニ似タル所多ケレト

モ尙二三ノ異ル點ニ付左ニ其大體ヲ記スヘシ

#### 第一、會員

現ニ各行會員ニシテ修正商會法ニ於テ規定セラレタル小商

人ニ非サル商人及會社ハ本商務總會ノ會員タルコトヲ得ル

モノニシテ其數ヲ限ラズ但シ實際上入會ノ場合ハ入會金ト

シテ銀十元ヲ納附シ會員トナリ一個ノ會董(選員)選舉權

ヲ所得ス

#### 第二、職員

會長一名、副會長一名、特別會董十二名(會長副會長ヲ含

ム)會董六十名

會長ハ會内一切ノ事務ヲ統轄シ議事ヲ整理シ議決ヲ執行ス

副會長ハ會長ヲ輔佐シ特別會董ハ正副會長ノ事務ヲ協助ス

會董ハ會議ニ參與シテ提議ヲナシ又議案ノ議決ヲナス右ノ

外事務員トシテ文牘主任一名、書記結核七名、調查兼招待

員一名、會計三名及庶務一名アリテ會務ヲ取扱ヘリ

#### 第三、選舉

各行百名以上ノ會員アルモノハ一名以上ノ會董ヲ選舉スル

コトヲ得從ツテ少數會員ノ行ハ行ノ財產ニヨリ數個ノ會員

權ヲ買得シテ其代表者ヲ選出ス選舉ハ單記名投票法ニ依

リ票數最多者ヨリ當選者ヲ定メ當選者確定ノ後其姓名年齡

原籍住所及商業行號ヲ省長ニ届出テ省長ハ更ニ之ヲ中央政

府農商部ニ登記ス

#### 第四、會費

事務所費事業費ニ分チ事務所費ハ入會基金ノ利子ヲ以テ尙

不足アル場合ハ會員各自分擔支出ス各職員ハ名職員トシテ

特ニ手當ヲ支給スルコトナシ事業費ハ事件ニ際シテ各行特

別ニ負擔支出セリ

附

民國拾八年一月十八日ニ於ケル選舉會長及職員會出席會員選

出ノ正副會長特別會董左ノ如シ

茶行、南海布行、北江轉運行、銀業行、報稅行、天津公帑

行、花生芝麻行、白糖行、磁器行、京果海味行、顏料行、

醬料行、薄荷如意行、草行、油行、紙線行、疋頭行、鮮魚

鰯行、鮮果行、洋庄米業公會行、客棧行、米埠行、酒行、

南番押行、廣肇青磚窑行、廣州織造土布行、洋雜貨行、故

衣行、酒樓茶室行、茶摘行、土糞行、北江紙行、銅鐵行、

烟絲行、西猪摘行、南北行、生藥行、參茸行、青

竹行、九散行、燕尾保險公會、金行、酒米行、紅磚瓦蓋行

行、電器行、廣州居牛行、顧紡班報公行等五十五行

正會長 陳廉伯 副會長 黃鶴塘

特別會董 黃載堂、鄭耀文、陳德農、陸佑民、潘錫濬、黃

懷英、留蔭南、黃竹平、歐陽文、姚鉤

#### 第五、團體

各種工業者カ夫々同業者ヲ叫合シ一定規約ノ下ニ組合ヲ組

織シ互ニ自制自衛シテ自己商工業ノ進歩發達ヲ計リ官憲ノ

保護ノ及ハサル點ヲ補フタメノ所謂同業組合ヲ行ト云フ

一八四

會長副會長及特別會董ハ會董ノ互選三依リ各々三年ヲ以テ

一任期トシ再選重任ヲ妨ケス

#### 第六、會費

會費ノ職務權限ヲ全フル爲

(イ)各種商工業ノ狀況ヲ調統計シテ物價ノ調節ヲ計リ

(ロ)商工業法規ノ制定、修正、廢止、其他直接利害關係ア

ル事項ニ關シテ主務官廳ニ意見ヲ具申ス

(ハ)若シ金融逼迫市場恐慌ノ虞アル場合ハ應急ノ方法ヲ講

シ或ハ官廳ニ對シテ市場ノ救濟保護ヲ求ム

(ニ)又會員ノ商務ニ關スル爭議ヲ處斷シ破產者ノ債權債務

ヲ整理ス

(ホ)尙商事訴訟ヲ代辦シ不法行為ニ對シ上訴又ハ行政訴訟

ヲ提起シ損害賠償及權利ノ保護ヲ請求ス

(ニ)其他附帶事業トシテハ博覽會及商品陳列所ノ開設參考

圖書館創設等ノ計畫調查ヲナス

(ト)右ニ依リ全國各商務總會ト絶ヘス連絡ヲ保チ會ノ取扱

事項ハ毎年一括シテ中央農商部ニ申告ス

#### 第七、會議

會議ハ每週日曜ニ特別會議ヲ開キ毎年二回職員總會ヲ開キ

議事ハ會董過半數ノ出席ニヨリテ開會シ多數決ニヨリテ決

ス但シ議事ノ內容ハ商工業ニ關係ナキ事件ニ涉ルコトヲ得

ス

議場整理其他ノ警護ハ省長ノ特別保護ニ俟ツ

0113



(90) 南番兩屬押行 質屋業ノ一種ナリ南海番屬兩縣ニ屬ス  
ルモノノ組合ナリ

(81) 桂皮行 桂皮桂枝ヲ取扱フ  
行ノ組織内容ニ關シ左ニ一二ノ例ヲ舉ケンニ

銀葉行 新ニ入行スルニハ組合員ノ紹介ニ依リ全員ノ同意ヲ得タル  
上入行基金トシテ銀三百五十九元ヲ納附シ組合員ハ組合費  
用トシテ貸出金一兩ニ付貸三分、借一分ヲ納附シ之等組  
合財產ハ六軒ノ理事ニテ管理ス理事ハ毎年其半數ヲ改選シ  
重任スルコトヲ妨ケス

組合員ハ権利ノ保護其他業務ニ關スル一切ノ問題ヲ組合ニ  
提供シテ其援助ヲ請フ事ヲ得現在組合員約四十餘軒アリ

煙行 煙草製造販賣及卸業者ノ同業組合ニシテ新加入場合ハ等シ  
ク組合員ノ紹介ニヨリテ組合全員ノ同意ヲ得タル後入行基  
金トシテ煙草一包ニ付二十仙ヲ納附ス從て組合ニ對シ營業  
ニ關スル一切ノ権利保護ヲ求ムルコトヲ得

組合ノ事務財產ノ管理等ハ選舉セラレタル當理事ニテ所理  
セリ現在組合員八軒アリ

第五項 岩省商團  
維持公安會カ實際ニ其目的ヲ達シ商行ノ生命財產ノ保護ヲ  
全フスル爲メ民國二年義勇的自治自衛團隊ヲ組織シ岩省商  
團總公所ト名付ケ正式軍隊ニ模範ヲ採リ詳細章程十三章五  
十二條判ニ附則ヲ規定中央政府陸軍部農工商部及省ノ軍

ト縫ビ出シタル襟章ヲ用フ  
第六 防衛  
強弱盜匪ノ襲撃ニ對シ水火其他不時ノ事變ニヨリ官府ノ  
力及ハサル場合ニ其防衛ニ當ル但シ武器ヲ携出スルニハ必  
ス制服ヲ着シ護照ヲ所持スルコトヲ要ス

第七・禁約  
右ノ外詳細ニ互リテ賞罰ヲ規定シ且團ノ名譽保持ノタメ左  
記各項ノ禁約ヲ規定セリ

(イ) 雀片ヲ吸食セサルコト又賭博ヲ爲ササルコト  
(ロ) 飲酒ニ耽ラサルコト  
(ハ) 遊蕩セサルコト  
(三) 不正ノ社團ニ加入セサルコト

(ホ) 血氣ノ刃ヲ持ジテ私闘セサルコト  
(ヘ) 制服ヲ着用シタルトキハ路上ニテ喫嗽又ハ餌食セサ  
ルコト

第八 附屬事業  
團員ノ智識開發ノ爲メ各學術技術ノ教育ヲナシ將來學校經營ノ計畫アリ現在貧民學校ヲ設ケテ慈善的ニ教育セリ

第六項 各地方會館  
省城在位支那各地出身者カ同鄉者ノ親睦ヲ厚クシ意志ノ疏  
通ヲ計リ其結束ヲ堅クスルタメ各々會館ヲ設ケ一種ノ社交  
俱樂部トシテ時々會合ヲナシ政治運動ヲ劃策シ尠ナカラサ  
ル潛勢力ヲ有セリ

現在省城ニアル各地會館左ノ如シ

第一 目的  
民政長官ノ認可ヲ得テ附屬操場及ヒ教練所ヲ省城西瓜園  
ニ設立シタル後漸次發展シテ現在三千有餘人ノ團員ノ養成  
ヲ終ヘタリ

第二 經費  
費トシテ銀六元ヲ納附シ服裝、武器等ハ各自ノ自辨トス

第三 職員  
正團長 一名  
副團長 二名

以下總稽查、教務長、理財長、醫務長、庶務長、旗長等其  
組織殆ント軍隊ト等シ  
各職員ハ毎年一回團員ヨリ選舉シ再選ヲ妨ケス

第四 操演  
一千名ヲ以テ模範軍團ヲ作リ之ヲ數多ノ分團ニ分チテ教練  
ス而シテ教練期ヲ四學期ニ分チ毎日二回（午前六時半乃至  
八時半、午後三時半乃至五時半）習練場ニテ軍事教育ヲナ  
シ一ヶ年ニシテ修了ス

尙引續キ二學期間ノ教練ヲ受ケサル者ハ除名セラル

第五 武器及服裝  
團員ハ各自捧統一挺、短銃一挺及彈丸二百發ヲ備ヘ附クル  
コト武器買入及所有ニ對シテハ軍政長官ヨリ護照ヲ發エ

一九團體ノ名稱及役員左ノ如シ

江蘇會館 湖南會館 山陝會館  
福建會館 廣西會館 雲貴會館  
惠州會館 漳州會館 八邑會館  
奉直會館 嘉屬會館 四川會館  
湄州會館 寧波會館 金陵會館  
江西會館 湖北會館  
第一 愛育善堂在廣東省城西關十七市  
總協理 商號 職業 住 所  
李聘臣 均昌號 同上  
李雲卿 均昌號 同上  
馬景初 公昌號 同上  
陸祐民 如意齋 同上  
陳勉菴 華經昌 茶商  
潘棣市 潘人和 热藥商  
梁佩唐 公昌九 綿布商  
林澤豐 孔教堂 生藥商  
韓翼樓 廣澤堂 西關藥鋪街  
崔協光 裕昌號 谷米商  
陳祥肇 昌記號 孔教會長 新城東橫街  
胡頤棠 永豐泰 西關揚仁南約  
朱俊堂 遠馨號 茶商 西關第四市

# アジア歴史資料センター Japan Center for Asian Historical Records

8115

**REEL No. 1-0745**

李聘臣	培皇號	嘉米商	米坡得
總協理	第八 方便醫院	在廣東省城第一津高岡	
宋俊堂	商 號	茶 商	第四市
徐蓉階	萬年人壽會	生命保險	第六甫
黃載南	同 珍 號	茶 莱	杉木欄
蔡卓琴	慎源銀號	銀行 葉	太平街
陳雲卿	七十二行商報	新聞業	第七甫
嚴禮初	常盛酒店	酒 商	新基西街
熊康侯	榮芳映相店	寫真業	長 堤
陳景川	萬年人壽會	生命保險	第六市
第九 明善堂	在廣東西關第七甫		
總協理	商 號	職 業	所
劉天衢	聯盛祥	染物商	第五甫
馮昆鵬	恕榮銀號	銀行業	太平街
尹茂泉	永泰和	雜穀商	沙基街
第八項	造幣局		
幣造局ハ廣州大東門内外ニアリ前清時代(一八八九年)兩 廣總督張三洞ニ依リ設立サレ支那ニ於ケル銀貨造幣所ノ嘗 矢ニシテ現在ハ省長ノ所管ニ移レリ各種貨幣(一元銀貨、十 仙及二十仙毫子一仙銅貨)ヲ製造シツ、アリ新式蒸汽機鑄 六臺及發電機二臺ヲ有シ總馬力一、一八六馬力ナリ一年間 ノ石炭消費額四、四八〇噸平均トス			
本局使用ノ原料銀塊ハ亞米利加ヨリ輸入シ又銀錠ニテ上海 邊ヨリ取ソ寄スルコトモアリ其外銅塊ハ大抵日本ヨリ買入			

總協理	明石遠	梁載南	梁崧生	梁載南	梁崧生
商號	第三通善堂	萃生祥	記	昌記	李衡堂
職業	在廣東省城	在廣東省城	在廣東省城	西關黃沙	駐院
住	十一甫	十二甫	十三甫	同上	同上
所	所	所	所	同上	同上
總協理	梁少華	梁草琴	梁信臣	尹茂泉	陳端人
商號	廣東銀行	心泰銀號	恕榮銀號	同上	同上
職業	銀行員	同上	同上	同上	同上
住	濤畔街	太平街	同上	同上	同上
第五	第五愛善院	萬年人壽會	廣生人壽會	萬年人壽會	萬年人壽會
商號	在廣東彩虹橋連桂坊	生命保險	生命保險	同上	同上
職業	第六甫	大新街	第六甫	第六甫	第六甫
住	所	所	所	所	所
所	所	所	所	所	所
總協理	陳景南	姚偉英	何華樵	田志堂	徐精一
商號	永泰和	雜穀商	熱藥商	綿布商	竹器商
職業	沙基	同上	同上	同上	同上
住	同上	同上	同上	同上	同上
第六甫	第六甫	第六甫	第六甫	第六甫	第六甫
所	所	所	所	所	所
總協理	祐祥	春和押	延壽年	崇正善堂	第四
商號	押	記	年	在廣東省城	在廣東省城
職業	質屋商	棺木商	十八甫	十一甫	十二甫
住	同上	同上	同上	同上	同上
所	所	所	所	所	所

ルト云ス

第九項 兵工廠

廣州市外石井ニ軍機局、無煙藥局及火藥局ノ三軍需品製造所アリ總稱シテ兵工廠ト云ヘリ何レモ省長ノ管轄スル所ニシテ蒸氣機四臺發電機三臺ヲ有シ約一千馬力ノ原動力ヲ有セリ軍機局ハ小銃、機關銃、彈藥筒等ヲ製造シ各部一年間ノ石炭消費高四、七〇〇噸職工數一、二〇〇人内外ナリトス

第十項 廣東電力有限公司

一九〇七年ノ開業ニ係リ最初資本金五十萬元ノ官民合併組織ノドコロ一九二〇年四月三十日ニ參百萬元ニ増資セリ當公司が廣東唯一ノ電燈供給者タル關係上營業ノ狀態良好ニシテ原動力三、三〇〇、馬力、周波數六〇、電壓貳、一〇〇、二次電壓一〇〇、總發電容量貳、三一〇ヲ有セリ

一九一九年ノ同社決算報告ニ依レハ電燈料合計一、一九、〇〇〇元ヲ舉ケ純益一九七、七六〇元ノ成績ニシテ開設以來ノ利益總額一、壹九二、四二九元ニ達シ現在八分ノ配當ヲナセリ

第十一項 廣東自來水公司

本公司ハ一九〇五年ノ設立ニシテ最初ハ資本金百二十萬兩ノ官民合併組織ナリシカ其後幾多ノ變遷アリテ今日ニ於テハ全然民營トナレリ現在本公司ノ資本金ハ毫銀二百二十五萬元(十五萬株一株十五元拂込済)ニシテ營業狀態ハ開業以來極メテ順調ニ運ビ大正九年四月三十日ノ決算報告ニ依レハ年八分ノ配當ヲ爲シ居レリ

官費生ノミナリシカ最近ノ入學者ニ對シテハ食費及質修費ヲ徵收セリ該試驗場及學校ニ要スル毎月ノ經費約五千元ハ從來財政廳ヨリ支給シ來リタルカ最近ニ於ケル政變ノ結果現今僅カノ文給アルノミニテ現狀ヲ維持シ居ルニ過ス

第十四項 工藝廠

前清時代ノ兵工廠ニ係リ廣州城外增歩ニ在リ永ク廢廠トシテ放棄シアリタル數年前ヨリ工藝廠トシテ復活シ兼ネテ工業學校ヲ經營スルニ至リ官營ニシテ現總辦ハ高齋ナリ工藝廠ハ學校經營ヲ以テ主ナル事業トス工業學校ハ機械、應用化學、紡績、美術、製版ノ四科ニ分レ之ニ從事メル教師凡武十名各科主任教授ハ各國ノ留學生出身ニシテ技師ヲ兼ヌ全校生徒凡三百名アリテ修業年限ヲ豫科一年本科三年ト定メ教授用語ハ廣東語ヲ使用シ外國語トシテ日語、英語、佛語ヲ教授ス從前ノ入學者ハ全部官費生ナリシカ最近ノ入學者ニ對シテハ食費ヲ徵收シ専レ機械科主任ハ日本高等工業出身ノ胡黎璽ニシテ地方ノ註文ニ應機科生徒ハ常ニ實修ニ從事セリ紡績科、使用ノ織機ハ機械科ノ製出ニ係リ日本石丸式類似ノモノニテ現ニ織機百五十臺又有スレトモ使用スルモノハ其半ニモ達セス現在女工四十名アリ專ラ愛國布及「タラル」製造ニ從事シ紡績科生徒ハ、時々實修シ居リテ外ニ小規模ナカラ染色部ノ設備ヲ有セリ工藝廠及工業學校毎月ノ經費約六千元ハ從來財政廳ヨリ

一九二

第十二項 廣東電話局

一九〇三年開業投下資本七十九萬元ト稱セラレ悉ダ官費ニシテ一箇年收入平均三萬元内外ナリト云フモ經費多端ニシテ收支漸々相償ヘル狀態ナリ今同公司最近調查ニ依ル所有機械器具諸收入及ヒ諸費用ノ概略ヲ示セバ左ノ如シ

總局 河南支局 瑞典燈式交換總機 全座(一千八百戶用)

總局 西局 同 同 七座

東局 同 三座

南局 同 二座

現在加入者一千七百二十戶(官用四十二

每月收入約一萬二千二百元(米納ヲ含ム)

每月經常費約九千元

第十三項 農林試驗場

前清時代ノ設立ニ係リ廣州城外東沙馬路ニ在リ官立ニシテ現場長ハ鄧植儀ナリ測候部、化學部、糧質部、蔬菜部、工藝植物部、果樹部、蠶桑部、牧畜部、森林部ノ各部ニ分レ各專門技師ニヨリテ各部ヲ擔任シ其研究ニ係モノハ度々之ヲ發表セリ而シテ民國七年軍政府ノ設立アリテ該試驗場地基ノ提供ヲ餘儀ナクナレ試驗場ハ軍政府前ノ「バラック」小屋ニ移轉セルカ現今ニ於テハ各國留學生出身ノ技師八名アリ兼ネテ農林學校ヲ經營シ技師ハ教授ヲ兼任ス學校ハ豫科一年本科三年ニシテ現在生徒約六十名在學セリ本校ノ目的ハ專ラ各縣農學校教員ノ養成ニアリテ生徒ハ從前ハ

由來廣東人ハ潤達敏捷、進取ノ氣ニ富ミ往昔ヨリ外國トノ支給セルカ最近ニ於ケル政變ノ結界現今僅カノ支給アリノミニテ辛シテ其形體ヲ維持セルニ不遇胡黎璽ノ談ニ依レハ現在ニ於ケル工藝廠ノ設備ハ甚ダ不完全ニシテ之ヲ完備セントセハ少クモ四十萬元ヲ要スヘシト云フ

第十五項 新聞事業

新聞一覽表左ノ如シ

國華報	廣州晨報	新報
國是報	新民國報	震旦新報
民意報	共和報	羊城新報
七二行商報	南越報	人權報
廣東人聲報	新雅報	平民報
廣東商報	新國報	廣東群報
廣東英文時報	廣州明星報	實業新報
Canton Star	Canton Star	Canton Star
粵商快報	大公報	真共和報
粵商公報	新中華報	天趣新報
粵商會新報	新嶺南報	南中日報

## 一九四

時事通信社 中華通信社 駱中興堂  
楊公民 民治通信社 黎明通信社  
廣聞通信社 ロイタル通信社 國際通信社  
中美通信社 洛斯德通信社

### 第二節 日本人ノ施設

#### 第一項 日本總領事館

在廣東日本總領事館ハ明治二十一年ノ開設ニ係リ二十三年ヨリ二十九年ニ至ル間之ヲ閉鎖シテ在香港日本總領事館ノ兼轄ニ移シタルカ三十九年再ヒ開館シ四十二年總領事館ニ昇格シ今日ニ到レリ現在ノ所在地ハ沙面英租界二〇號ナリ

廣東日本人會ノ現行規則左ノ如シ

#### (◎總則)

第一條 本會ハ在留日本人有志者ヲ以テ組織シ廣東日本人會ト稱ス

第二條 本會ハ會員相互ノ親睦ヲ厚フシ協同一致邦人ノ發展ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第三條 本會ニ左ノ各部ヲ設ク

- (一) 教育部
- (二) 衛生部
- (三) 圖書部
- (四) 體育部
- (五) 娛樂部
- (六) バー

第四條 本會ニ入會セントスル者ハ會員或各ノ紹介ニ依リノ體面ヲ毀損スル行為アルモノハ評議員會ノ決議ヲ以テ除名ス

第五條 退會セントスル者ハ其旨會長ニ文書ヲ以テ届出シ

第六條 本會ノ目的ニ反シ或ハ諸規則ヲ遵奉セス又ハ會員ノ體面ヲ毀損スル行為アルモノハ評議員會ノ決議ヲ以テ除名ス

第七條 會員ニシテ會費其他本會ニ支拂フヘキ金額ヲ三ヶ月以上滯納シタル時ハ其紹介者責ニ任スルモノトス

第八條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク役員ノ任期ハ滿一ヶ年トス

(イ) 會長一名 會長代理一名  
(ロ) 評議員十五名 (内一名會長一名會長代理)

(ハ) 幹事若干名

第九條 會長並會長代理ハ總會ニ於テ評議員會中ヨリ選舉ス

第十條 會長ハ本會ノ事務ヲ總理シ總會並ニ評議員會ノ議長トナリ外部ニ對シテ本會ヲ代表ス

會長ハ必要ニ應シ臨時總會並評議員會ヲ開ク事ヲ得

會長事故アル時ハ會長代理其事務ヲ代理ス

第十條 會長又ハ評議員五名以上ノ缺員ヲ生シタルトキハ臨時總會ヲ開キ選舉ス

第十一條 評議員ハ評議員會ヲ組織シ本會ノ目的ヲ遂行ス

0118

#### 第十八條 會計報告及豫算提出ハ總會ニ於テ之ヲ爲ス

第十九條 會員ハ何時ニテモ帳簿ヲ閲覧スルコトヲ得

#### 第二十條 本會ハ毎年十月定期總會ヲ開キ隨時評議員會ヲ開ク

第二十一條 會員ハ全員三分ノ一以上ノ同意ヲ得テ臨時總會ノ開會ヲ要求スルコトヲ得

第二十二條 總會ノ成立ハ會員ノ三分ノ二以上ノ出席ヲ要ス但シ代理權ノ委任ヲ妨ケス

總會ノ議事ハ出席者過半數ヲ以テ決ス可否同數ナル時ハ會長之ヲ裁決ス

評議員會ノ成立ハ評議員ハ三分ノ二以上出席ヲ要ス

#### (◎雜則)

第二十四條 本會員ハ會員外ノ人ヲ同伴シタル時ハ本會内ニ於ケル同伴者ノ行爲ニ對シテハ一切ノ責ニ任スルモノトス

第二十五條 王代其ノ他バー等ノ仕拂ハ現金ヲ以テスルヲ得ス

第二十六條 各幹事ハ毎月未各自分擔ノ收支計算表ヲ作リ會長ニ提出スルモノトス

第二十七條 集金掛ハ毎月二十五日迄ニ其月分ノ集金表(表内ニハ集金濟未濟等ヲ明細ニ示スゴト)ヲ作製シ會長ヲ經テ會計掛ニ送ルモノトス

第二十八條 會費入會金並ニ寄附金ハ總テ香貨トス

第二十九條 本會員ハ會費月額香貨參弗入會金香貨五弗トス

第三十條 本會ノ經費ハ豫算ノ範圍内ニテ會長之ヲ支出シ經常費ノ不足並其他ノ支出ハ前項以外ノ收入ヲ以テ之ニ充當ス

第三十一條 會費入會金並ニ寄附金ハ總テ香貨トス

第三十二條 本會員ハ會費月額香貨參弗入會金香貨五弗トス

第三十三條 本會ノ經費ハ豫算ノ範圍内ニテ會長之ヲ支出シ豫算外ノ支出ハ評議員ノ承諾ヲ受クルモノトス但シ緊急

要スルモノハ會長ニ於テ臨時ノ責任支出ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テ事後承諾ヲ受クルヲ要ス

日本人兒童教育機關トシテハ廣東日本人會ノ經營ニ係ル尋

常小學校ノ設備アリ、約一ヶ年前在外指定學校トセリ

一、學級數 六(蒙常二、三、四、五、六ハ各學年アリ未タ高等科ナシ)

二、兒童數 一六

三、職員 大正九年十二月七日就職(兩人共)

校長兼訓導高等小學校本科正教員 島田 完

同

四、校地校舍等 校舍ニ適等ノ家屋ナク開校以來四度移

轉シ現在ノ校舍ハ英租界西端ニアリ

第五項 日本寺院及墓地

日本寺院トシテハ河南龍溪四約ニ西本願寺出張所アリ大正七年ノ創設ニ係リ香港西本願寺ノ僧毎月一回出張布教ヲナ

ス此寺ハ在留邦人中有志者ノ寄附金ニ依リ維持セラレツツアリ

墓地 日本人墓地ハ市ノ南約二哩半ナル河南南石頭ニアリ

大正七年中銀三千五百餘弗ヲ投シテ造營セシモノニシテ火葬場ヲモ附設セリ本墓地ハ日本人會ノ管理スル所ニシテ土地高燥且ツ閑靜ナル淨域ニシテ西ニ珠江ヲ望ミ北ニ小丘ヲ控ヘ居レリ

廣東ニ於ケル外國人墓地 河南南石頭ニアリ英佛居留民團ノ管理スル所ニ係リ千八百六十三年沙面居留地落成後ノ造營ナリ

## 第一項 英國商業會議所

(British Chamber of Commerce)

本據ヲ英京倫敦ニ有シテ世界各地英人商人ノ在住スル開港場ニ其支部ヲ設ケ居リテ當廣東ニモ沙面英租界ニ之ヲ有セリ支那ニアリテハ上海ヲ最モ大トシテ各商埠ニ亦之ヲ有セ

大體日本ノ商業會議所組織法ト大差ナキ様ナルモ本國政府トノ連絡深シ

## 第二項 廣東俱樂部 (Canton Club) (英租界)

在廣東在住外國人ノ「クラブ」ニシテ其國籍ノ如何ニ論ナク入會ヲ許可セラル社交機關ニテ入會費五十元毎月五弗ノ會費ヲ徵收セラル酒場及各種娛樂機關ヲ有シ現在會員六百名ニシテ Hongkong Club ト連絡ヲ有シ會員ハ香港を行ぐル時 Hongkong Club ニ於テ特別ノ優待ヲ受ク(例へハ宿屋食費ノ割引等)會員中ニハ香港在住ノ外人キアリ外人軍艦乗組員等ハ別ニ Seine Club ナ有シ同様ノ組織ニヨル

## 第三項 外人兒童教育機關

目下設置ナシ數年前ハボルトガル兒童教育ハ Church ニ於テ行ハレタルモ其後廢止セラレタルヲ以テ現在ニ於テハ學齡ニ達シタル兒童ハ本國又ハ香港ニ送リテ以テ教育ヲナス上中流ハ全部本國ニ送還シテ教育スルカ如シ

## 第四項 管内ニ於ケル各國領事館

(大五十年三月調査)

領事所在地	領事館資格	館長官名	館員種別員數	備考
米國 廣東	總領事館	總領事代理	ナシ	
	副領事			

## 第三節 外國人ノ施設

英國 同 同 總領事 副領事二、補助  
英國 梧州 領事館 同 ナシ  
同 北海 同 領事代理 ナシ  
同 海口 同 ナシ  
佛國 廣東 總領事館 總領事 副領事一  
葡萄牙 廣東 總領事館 總領事 副領事一  
智利 同 同 副領事館 副領事 ナシ  
丁抹 同 名譽領事 領事代理 ナシ  
和蘭 廣東 領事館 同 ナシ  
諾威 同 同 同 ナシ  
瑞典 同 同 同 ナシ

當地方ニ於ケル土地家屋ノ賣買方法ハ略モ他地方ト同様ニシテ仲介人ニヨリ行ハル左ニ土地賣買契約書ノ一例ヲ舉ケンニ

地契(譯文)

賣地契約人何某〇〇縣〇〇市ノ人祖先遺下ノ某地〇〇井アリ今銀員急用スルニヨリ之ヲ賣却ス時價〇〇元也先ツ房親ニ商ルニ各々買收ヲ欲セス仍テ中人某ヲ介シ

シテ

買受人何某ト賣買契約成リ此ニ交易ヲ了ス若シ來歷不明轄幅未清ナルアラハ賣主ハ中人ド共ニ理明シ賣受人ニ迷惑ナカラシムベシ後來據ルナキヲ恐シ此ニ賣地契約ヲ作製シ買受人某ニ與ヘ以テ憑據トナス  
年 月 日 中人 何某  
立約人 何某  
右ノ如キ證書ヲ契上稱シ、土地ニ關スルモノハ即チ地契ニシテ店舖ニ關スルモノハ舖號ナリ而シテ其登記未了ノモノヲ白契ト稱シ登記ヲ了ヘタルモノヲ紅契ト稱ス此ノ登記事務ハ縣廳ニ於テ取扱ヒ廣州市ニ在リテハ市政公所ニ於テ取扱フ  
中介人ノ口錢ハ俗ニ典三賣四ト云ヒ抵當入レニハ金高ノ百分ノ三賣買ニハ百分ノ四ヲ以テ大體ノ標準トナシ賣主ヨリ支拂フヲ常トス

家屋ノ貸借ハ直接又ハ中人ヲ介シテ成立ス而シテ家屋ノ貸借ハ他地方ト異ナルモノアリ即チ貸家ニ「召頂」ノ貼紙アルモノハ普通ノ貸家ニシテ「召頂」ノ貼紙アルモノハ前借家人及ヒ家主トノ關係アリ召頂ノ頂ハ頂手ノ略ニシテ前借家人ノ享有セル借家權及作讓渡料ヲ意味スルモノニシテ此故ニ新築家屋ニハ此頂手ナルモノナシ頂手ノ價ハ安キハ數百元高キハ數千元ニ至ルモノアリ但シ住宅ニハ頂手ナシ又按櫃銀ナルモノアリ之即チ日本ノ敷金ニシテ數ヶ月又ハ一ヶ年ノ家賃ニ相當スル場合モアレトモ住宅ニハ往々敷金ヲ要セナルモノアリテ「先交租」ト稱シ前家賃モアリ又批頭ト稱スルモノアリ之レハ一ヶ月分ノ家賃ト同額ニシテ折半シテ中介人ト家主トノ收入ニ歸ス即チ中介人ニ對シテバ

## 第十六章 土地家屋ノ賣買

### 並貸借

周旋料トナリ家主ニ對シテハ手數料トナルナリサレハ借家

人ト家主トノ間ニ中介人ヲ介セサシ場合ハ批頭銀ハ半減

スルヲ常トスルモクアリ之レハ毎年數元及至

十數元ニシテ家賃徵收料ナリ

借家ニハ一定ノ年限ヲ定ムルモノアリ又定メサルモノアリ

テ一定セサルカ年限ヲ定メタルモノニシテ期限内ニ移轉セ

ントスルトキハ之ヲ第三者ニ復貸スルコトアリ斯ノ如キ貸

主ヲ俗ニ二路舖主ト稱ス而シテ家賃ハ一般ニ毎月拂ヲ以テ

普通トセルカ時ニ年四季ニ分チテ支拂フコトモアリ

頂手ノ一例

頂舗契約人李某今〇〇街門牌第〇號〇〇軒ノ店舗造作看版

等一切ヲ林某ニ譲ル該頂手銀五千元也即日某公局ニ於テ立

會人ノ面前ニ於テ銀員ノ受授ヲ了シ此ニ交易結了ス仍テ林

某ハ吉日ヲトシ修舗開張スヘシ倘シ來歷不明手續未了ノ點

アラハ李某之ヲ處理シ林某ニ開ルコトナシロ約ハ憑據ナシ

特ニ頂舗契約一紙ヲ作リテ林某ニ交へ以テ存據トナス

年

月

日

中

人

何

某

立約人

何

某

土地家屋ノ賣買頂手等ハ總テ其交易ノ前約一ヶ月ノ間建札

或ハ門首ニ貼紙ヲナシ何月何日交易ス異議アルモノハ申シ

出ツヘシトノ意味ヲ廣告シ以テ交易後事件ノ發生ヲ豫防セ

リ都會ニアリテハ新聞紙上ニ於テモ之ヲ告白ス之ニ對シ若

シ異議ヲ有スルモノハ直チニ其旨ヲ記シテ貼紙シ又ハ新聞

紙ニ告白スルノ慣習ナリ今頂受異議ノ實例ヲ舉クレハ左ノ

如シ

頂受須知

啓者廣州市南關華菜欄新和順記揭缺何建立

堂本銀二千二百餘兩另缺息今閱報載順成堂

頂受講將所缺本堂之揭項如數清還方可交易

否則魚竊除標門首外再登告白以免後論八六

勇 何建立堂啓

土地ノ貸借 土地ヲ租借シテ家屋ヲ建築セントスル場合其

期限ニ無期ナルモノアリ之ヲ長批ト稱ス然レトモ多クハ一

定ノ年限ヲ定メテ其滿期ノ後ニ於ケル家屋ノ處分方法ハ契

約當時之ヲ定メ居レリ即チ家主之ヲ買收スルモノアリ又ハ

滿期ノ際家屋ヲ無價ニテ家主ニ讓與スルモノアリ但シ後ノ

場合ハ租借料ノ低廉ナルコト言ヲ待タス

## 第十七章 勞働者生活狀況

並物價(大正十年一月調査)

### 第一節 勞働者生活狀況

第一 花梨行工業 廣州市ニ於ケル勞工生活狀況ハ近來大ニ變化ヲ生シ來レリ

左ニ各行ニツキ其概略ヲ述ヘン

即チ紫檀細工業ノ工人ニシテ同後街、濠畔街一帶ニ多シ元來該行工人ハ團結力甚タ堅カリシモ近來漸ク變化シ來リ昔

日ノ如キ團結力ナシ現在ニ於ケル工人約一千人毎日勞働時

間八十時間ニシテ休日ナク而シテ得ルトコロノ工資僅カニ

一ヶ月十元内外ニ過スシテ其生活狀況ハ之ヲ各行ニ比シテ

苦難ナル爲メ近來轉職ヲ欲スル者不少ト云フ

第八剪髮工業 第九 織造土布行 船大工ハ多ク河南、黃浦、新洲地方ニ多ク近來本業ノ隆盛

ナル爲メ工人モ約四千人ニ達シ普通工賃一日五六十仙ナリ

工人ハ團結力非常ニ強ク資本家頗ル畏憚シ居レリト云フ

三十仙内外ナリト云ス

第十 裝船工業 第十一 茶居行 茶館工人ハ約五千人普通工賃四十仙團結力ニ富ミ各維持會

ノ組織及職業周旋ノ義務アリ從テ失業者甚タ少シト云フ

船大工ハ多ク河南、黃浦、新洲地方ニ多ク近來本業ノ隆盛

ナル爲メ工人モ約四千人ニ達シ普通工賃一日五六十仙ナリ

工人ハ團結力非常ニ強ク資本家頗ル畏憚シ居レリト云フ

三十仙内外ナリト云ス

第十二 茶居行 茶館工人ハ約五千人普通工賃四十仙團結力ニ富ミ各維持會

ノ組織及職業周旋ノ義務アリ從テ失業者甚タ少シト云フ

第十八章 着目スヘキ事業

本省ニ於ケル水力電氣ノ水源地トシテハ北口ノ支流タル翁江ノ獅子口ニ水源地ヲ設ケテ省垣一帯ニ送電スルヨリ以外他ニ適當ナル水源地ヲ見出シ能ハサルカ右獅子口ハ確實ナル調査ニヨリテ三四萬馬力ノ電氣ヲ起スル得ヘシ此計畫ニ對シテハ曩ニ省城一部人士ノ之カ企業ニ策シタルコトアリシモ資金ト官憲ノ保護及地方治安等ノ不十分ノタメ遂ニ實現セラレズシテ中止スルニ至リタルカ早晚燃力動力ニ代ル水力動力ノ發展スルハ疑ノ餘地ナカルヘシ

二、鐵道(電氣鐵道)

三、電話

香港廣東間ノ長距離電話ハ從來問題トナリシニト再々アリタルカ外資ニヨリ云外人ノ經營トセハ將來有望ノ事業ナルヘシト雖支那人經營トシテハ中々困難ノ事業ナリトス

四、棉花、甘蔗及製糖業

右ノ内目下棉花ハ試植中ニテ政府當局モ熱心獎勵中ナレトモ廣東地方ハ寧ロ桑烟ニ適シ之ヲ獎勵スル方得策ナルヘク本業ハ却ツテ廣西省ニ於テ栽培スルヲ以テ最モ有利ナリト考ヘラル

第十九章 宗教及教育

地方ニ於テ有利ナルヘシ  
以上ノ紡績業(目下支那人间ニ於テ計畫中)、製革業、紡織物  
及土布製造業、燐寸會社「セメント」製造業ノ如キ生産工業  
のモノハ將來最モ有望ナルヘク殊ニ廣東ノ生糸工業ノ改  
良及生産増進ハ最モ緊急有望ノ事業ト思惟セラル

宗教ノ傳、儒道三教ノ外同々基督教及各種ノ新舊行ハルレトモ根柢アル信仰ニ基ク信者極メテ少ク迷信ニ因ハル、者多クシテ各教トモ盛ナリト云フコト能ハス。

第一項 儒教

第三項 儒教

幼時ヨリ多少ニ拘ハラス孔子ノ教儀ニ接近セザル者無ク何人モ孔子ノ名ヲ唱フルヲ見レトモ組織的宣傳アルニ非ス僅堂廟等モ維持困難ニ陥リテ多クハ廢頽シ僅カニ六猪寺、大佛寺、光孝寺、清真寺、五仙觀、三元宮等ノ往時ヲ偲フニ足ルモノアルニ過キシシテ眞面目ナル信徒ヲ有スルモノ殆ント無シト謂ハル。

**REEL No. 1-0745**

Q121







培質婦孺學校 一九〇九 Greaves

米國北長老會公理會 协和女子師範學校 一九一六 Lowrey

米國北長老會公理會 同夏葛女醫學校 一八九九 Fulton

中等家政ニツキ 同

米國北長老會公理會 計畫部 運源中約

米國北長老會公理會 師範部 多寶街尾

三、專門教育  
米國布教會於支那開拓計画トシテ農學ト工  
學ト醫學トニ開スル知識ヲ普及スルコトヲ其ノ基本トシ居  
レリ而シテ是等ノ内ニテ最も根本トナルモノア農學ニ開ス  
ル知識ノ傳達ニアリトシ農業技師ド布教師トノ養成ニ向ツ  
テ最も主力ヲ注ケリ廣東ニ於ケル布教會經營ノ機關トシテ

最モ大ナル嶺南學校ニテハ全校ノ殆ト三分ノ二ヲ農業教授  
ニ開スル施設ヲ以テ充サレ居レリ且ツ昨年末ヨリ農業教育  
ノ必要ナルコトカ支那基督教々會ノ主要ナル題目トナリ遂  
ニ其ノ計畫案ヲ Interchurch World Movement に提出スル  
ニ至レリ現時中學校ニテモ農事ニ關スル課程ヲ設置スルコ  
トニ付計畫中ナリ

學校名稱創立年校長

經營者課程位置

嶺南學校 一八九八 Edmund

ヒラバード大學基督教  
神學部豫科

康樂

授一名ヲ派遣シテ居リ教  
會北長老會、米國公理  
會、米國同寅會、ニユーヨ  
ークランド長老會循道  
會、倫敦會中華聖公會

ヒラバード大學基督教  
神學部豫科

農學部豫科

社會學部豫科

白鶴洞

浸信會神道學校 一九〇三 Anderson

ヒラバード大學基督教  
神學部豫科

白鶴洞

浸信會神道學校 一九〇四 Kunkel

ヒラバード大學基督教  
神學部豫科

白鶴洞

浸信會神道學校 一九〇五 潘澤

ヒラバード大學基督教  
神學部豫科

白鶴洞

浸信會神道學校 一九〇六 陳志

ヒラバード大學基督教  
神學部豫科

白鶴洞

浸信會神道學校 一九〇七 伍成

ヒラバード大學基督教  
神學部豫科

白鶴洞

浸信會神道學校 一九〇八 陳志

ヒラバード大學基督教  
神學部豫科

白鶴洞

浸信會神道學校 一九〇九 陳志

ヒラバード大學基督教  
神學部豫科

白鶴洞

浸信會神道學校 一九一〇 陳志

ヒラバード大學基督教  
神學部豫科

白鶴洞

浸信會神道學校 一九一一年 陳志

ヒラバード大學基督教  
神學部豫科

白鶴洞

浸信會神道學校 一九一三年 陳志

ヒラバード大學基督教  
神學部豫科

白鶴洞

浸信會神道學校 一九一四年 陳志

ヒラバード大學基督教  
神學部豫科

白鶴洞

第三項 支那人外國人ノ協同經營

米國人下支那人トノ共同經營ノ學校ハ左ノ三校アリ 一方ハ布教會ノ協同經營ニシテ他ハ宗教上之關係ヲ有セサル意味ノ  
協同ナリ即チ左ノ二校ナス

アジア歴史資料センター  
Japan Center for Asian Historical Records  
<http://www.jacar.go.jp/>

**REEL No. 1-0745**

0 125

南陽平海陽安平源川豐羅嶺寧

新香龍從花清寶佛高四鶴恩開新德開封廣高羅雲

浮定明寧川建慶興平平山會溪要岡安遠縣化門水城山會山

**REEL No. 1-0745**

१२७

**REEL No. 1-0745**

0128

アジア歴史資料センター  
Japan Center for Asian Historical Records  
<http://www.jacar.e.u-tokyo.ac.jp/>

馬象水翡翠人紹燒大蝦海魚蒸虎老細蘭貢羅蘭下中上紅品  
牙晶興白豹羊綵等綠等土目  
皮器器翠酒蔘酒酒蝦末參翅窩皮皮網子紗同同茶系  
十百十一一大百同同百百一一同百每每每同同百單  
金錢袋共重九

八三一四四二二至自三二一一四一四二六一至自三一二四一  
兩兩兩兩十分三錢錢兩錢錢兩錢一五兩兩兩兩錢  
八二二七一八六五六二三一六六五五四八九五  
分錢錢錢兩厘分錢分兩錢分錢分錢分分分錢錢錢錢分

順德容奇戲院  
長堤大新戲院  
惠愛大新戲院  
長堤先施戲院  
南關影畫  
十八市民智影畫  
十八市一新影書  
十八市廣州影書  
河南智育影書  
第五項廣東  
省河補抽局  
河口馬口廠  
芦苞廠  
渡沙廠  
綠廠  
白廠  
都城廠  
江門廠  
水東廠  
北廠  
又兼辦會河分局  
又兼辦欽州卡  
廉城分局

雷州	海口	分局
海安	糖釐	分局
潮州	釐金	廠
又兼辦	潮汕火車貨釐	
四會	會廠	
佛山	補抽	局
韶	東	廠
韶	西	廠
又兼辦	河西尾	分局
新塘	廠	
陳村	補抽	廠
石龍	龍	廠
磨刀口	口	廠
又兼辦橫門分局		
又兼辦鵝開茶釐		
又兼辦鵝開貨釐		
廣斧車貨		
廣斧車貨		
石門石釐		
石門石釐		
合計		
第八項	釐金	

ノレトモ重ナル品目ノ標準基	銀 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
---------------	---

第一等トナシ三等ヨリ次第ニ二等ニ昇ル而シテ三等ニ等  
ノ資格ヲ得タル都度一回清倣花息ナルモノヲ納付スルモノ  
ノ登録税亦同シ

## 第二十一章 旅館及保險業

### 第一節 旅 館

廣東ニ於ケル外國人營業ノ旅館ハ「ダイクトリヤ、ホテル」  
及日本人營業ニ係ル左、四旅宿ニシテ前者ハ一日十元内外  
後者ハ最下等一元五六十仙ヨリ通常四元ヨリ八元位ニ至リ  
其名稱ハ日本館、東洋館、ホテル、蓬萊館、廣東「ホテル」、  
稱シ料理業ヲ兼ヌ、此外支那人經營ノ「ホテル」ノ名稱宿泊  
料左ノ如シ

亞州酒店、東亞酒店、西濠酒店、大東酒店、上記宿泊料ハ  
貳元以上拾貳元(食料ヲ除ク)食料ハ一食四十仙以上一元其  
他ノ旅店ハ食料付一元五十仙以上四位位迄ヲ普通トシ數十  
軒アリ

### 第二節 保 险 業

#### 第一項火災保險

住民ノ火災保險思想ハ今尙其ノ發達過渡期ニアリテ住宅ノ  
如キ良好ナル危險ニ對シテ契約スルモノ極メテ少ナク中流  
庫其他一般倉庫銀行事務所等カ漸時契約スルニ至レルハ漸  
々最近ノ事ニ屬セリ之ヲ場所ヨリ論スレハ火災歴史ニ最モ

於ケル外國人營業ノ旅館ハ「ヴィクトリ  
本人營業ニ係ル左ノ四旅宿ニシテ前者ハ一  
ハ最下等一元五六十仙ヨリ通常四元ヨリ八  
稱ハ日本館、東洋「ホテル」蓬萊館、廣東「  
料理食ヲ兼ヌ、此外支那人經營ノ「ホテル」  
ノ如シ

富山山西側ノ南部ニ多ク河南 南關之ニカキ城内及ヒ東關方  
面ハ極メテ少ナシ  
建物ノ構造ハ大部分所謂支那造リナレトモ中西折衷造モ近  
時漸ク激増シ來リ西洋造ハ長堤ノ外東山方面ニモ不少建築  
セラレタルモ市内ニハ未タ少シ火災危險上支那建物ハ其ノ  
全那煉瓦又ハ石ヲ以テ造リ其門口カ所謂曲字門口ナルモノ  
ヲ第一級トシ門口カ所謂開門面ナルモノヲ第二級トス(新  
馬路ノ開設ト共ニ建築章程ナル法律施行セラレ街路ノ擴張  
ト建物ノ改善ヲ計リツアリ)  
消防ハ官設消防及私設消防ノ區別アリ官設消防ハ警察廳ニ  
屬シ本署ノ外ニ第一、第二、第三ノ三分署アリ其ノ人員總  
數約壹百貳拾名消火器ハ「ホース」五十本ノ手押「ポンプ」  
一臺アリ私設消防トシテハ各街ニ大抵消火器ヲ有シ火災ノ  
際ニ、三十名ノ消防隊出動ヲナス事ヲ得又大新直光、先  
施ノ如キ大ナル「デパートメント、ストア」ニハ夫々私  
設消防隊ヲ有ス河南ニハ水道ナキモ省城ニハ水道アリテ火  
災栓ハ主ナル街ニ二個又ハ三個アリ河水ヲ水源トナスカ故  
ニ水量ハ豊富ナルモ機械ノ不完全ナルニヨリ時ニ送水不十  
分ナルコトアリト云フ  
火災危險上ヨリ觀テ廣東ハ其ノ道路ノ狹隘ナルコト、家屋  
ノ稠密及ヒ建物ノ階數多クシテ高キコトハ大火災ヲ誘致ス  
ル一大缺點ナレントモ特長トシテハ氣候溫暖ニシテ住民ノ火  
氣ヲ使用スルコト比較的尠ク又建物ハ殆ント總テ煉瓦造ニ  
シテ窓ヲ開ク事尠ク又風力ノ概シテ弱キニアリ廣東ニ於ケ  
ル保險會社ハ外國會社又ハ其代理店ナルモノ二十社ニ近ク

Asian Center for Asian History

*Center for Asian History*

144 of 144

三〇

支那ノノ松谷ノハシ原ノ三十加二四年春西關ノ大火ニ  
各社共大打撃ヲ受ケタル結果事實上成績ハ餘り面白カラサ  
ルカ如キエ爾來火災事故激減ノ爲メト昨年四月一日ヨリ保  
險料ニ割引ヲナシタルトニヨリ著々損害ノ恢復ヲ遂グ利益

リ  
造ナハルト居着モ使用人ノ外支那人ナキヲ以テ外國會社  
ハ香港「タリフ」内ニ規定シ極メテ低率ヲ課シツア

第二十二章 管內地方狀況

十九  
然シテ倉社數ノ増加及業務ノ漸次順調ニ赴クニツレ將來料率戰力益々熾烈トナルコトハ疑ヲ容レサル處ナリ茲ニ注意ヲ要スルコトハ現行外國倉社ノ「タリフ」カ支那人危險ト外國人危險トニ大別シ甚敷相違アル保險料率ヲ課シツツアルコトナリ是レ支那人ノ國民通有性トシテ火ニ不注意ナルコト及其他ニモ事情ナキニ非ラサレトモ支那人倉社ノ無力ニシテ信用ナキ事及ヒ人種的逼見ノ然ラシメタルモノニシテ其ノ外國人危險ハ略ホ「タリフ」ヲ維持セルニ對シ支那人危險ニハ前記ノ如キ割引ヲセサルヘカラサルハ之ヲ證シテ餘リアリト云ヘシ  
以上ヲ要スルニ道路ノ狹隘ナルハ市區改正ノ爲メニ其建物ハ建築章程ノ爲メニ漸次改善セラル可ク水道消防ノ發達火災保險取締規則ノ嚴重ナル施行等ハ住民ノ保險思想發達ニ伴ヒテ本業ノ將來多忙ニシテ有望ナリト思考セラル  
沙面ハ支那町ト全然事情ヲ異ニシ其ノ建物純然タル西洋

更ニ廣東港内及地方ヨリ往復スル民船ノ船體保險及ヒ其ノ  
積荷保險ハ現在ニ於テハ保險思想ノ幼稚ナル爲メ殆ント無  
保險ニシテ要スルニ廣東ニ於ケル海上保險ハ遠キ將來ハ知  
ラス現今ニ於テハ甚大振ハサルモノト云フヘク從ツテ海上  
保險ヲ經營セルモノモ外國社及支那社ヲ合シテ拾社ニ足ラ  
ナルナリ料率ハ外國社ハ火災保險ト同様香港海上保險協會  
ニ加入シタル「タリフ」ニ依リ居レリ

モ廣東省ニ冠ダリ

第一項 順德縣城（一名大良）

市街ヲ合シテ順徳ト稱スレトモ普通之ヲ總稱シテ大良ト稱セリ市ハ鳳山ニ倚リ小水路其周圍ニ錯綜メ廣洲ヨリ施船（曳船）ニテ六時間ニシテ着シ人口ハ城ノ内外ヲ合シテ凡五萬戸稱セラル城内市街ノ主ナルモノハ英覽大街ニシテ順徳門此處アリ東門大街、北門街等之ニ次グ此地ハ縣内養蠶及製糸業ノ中心ニシテ附近ニ機械製糸場十餘家ヲ有ス市内ニ電機廠アリテ一般電燈ヲ點ス（電機廠電力ハ電燈ニ限り、動力ニ供給セス）粵軍ノ兵駐營スルモノ大凡五百名アリ然レトモ地方ノ安全ハ期シ難ク夜間ノ行路ハ不穩ナリ教育機關トシテハ縣立勸學所ノ設アレトモ教育設備不完全ニシテ僅カニ中學校一ヶ所ヲ有スルノミ從テ富有ノ子弟ノ多クハ廣州香港ニ遊學ス英人經營ノ教育堂アリ宣教師ハ常ニ產業トシテハ養蠶業ノ盛ナルコト三角洲第一ニ屬シ三月ヨリ午後六時ト定メ一日ノ製糸高凡二十括（一括ハ八斤）ト

スル桑葉ハ最高ノ土地ニシテ一造二年一回採繭一回ヲ  
造ト云フ五百斤最底ノ土地ニシテ凡二百斤トス一畝ニ對  
スル土地貸借料ハ土地ニ依リ同シカラサルモ年凡九元ニテ  
新ニ開拓ノ場合之ニ要スル費用落花生粕凡七十五斤(時價  
五元ニ付八斤)元ニ對スル桑苗ノ相場約八十本ニシテ桑  
葉ノ相場ハ百斤ニ付キ參元五十仙ヨリ二元八十仙ニ至リ  
(時ノ需要如何ニヨリテ相均シカラス)通常一人ニテ四畝ヲ  
耕シ一畝ニ對スル毎一ヶ月ノ利益ヲ五元見當ト見積レリ  
養蠶ノ方法ハ今尙古來ヨリノ習慣ヲ踏襲シ更ニ改良等ノ形  
跡ナク偶々養蠶講習所ノ設立アリテ之カ改良ヲ企テタルモ  
幾何モナク中止スルニ至ナリ

**REEL No. 1-0745**

テ金五百四十ヲ有シ女工五百四十名ヲ使用ス最モ製法設備ニ於テ新式工場ヲ以テ盛名アリ常ニ廣州沙面ニ於ケル外國商館ノ注文ニ應ジテ製糸ヲナス

### 第三項 小 橋

容ヨリ曳船ニテ約二時間ニシテ小橋ニ着ス此地ノ人口ハ凡七萬ト云フ市街ハ碼頭ヲ去ル八九町ノ處ニ位シ河（支流ニシテ巾凡三間）ノ兩側ニ並ヘリ地勢低カラス高カラス濕ナラス燥ナラス鄉人ノ施肥添泥宜シキヲ得テ香山縣中桑ノ產出第一ニ屬ス旅館トシテハ僅カニ一二木貨宿式ノモノアルノミニテ旅客ノ不便少カラス教會堂アリ宣教師常住料ヲ徵集スル規定ナリ

### 第四項 香山縣城（石岐）

小橋ヨリ曳船ニテ凡二時間ニシテ香山縣石岐ニ達ス此兩岸ハ全部バナ、ヲ栽培セリ孫文、唐紹儀ノ出身地ニシテ廣州ヲ去ル五十八哩ノ地點ニ位シ香山縣城及城外石岐ト合シテ普通香山ト稱ス縣城ノ周圍ニハ參十二町城壁ノ高サ十五尺トス城内ノ面積ハ城外石岐ノ四分ノ一ニモ達セス從ツテ重ナル商業ハ皆石岐ニ於テ行ハル人口ハ城内外ヲ合シテ六萬ト云フ主ナル市街ハ石岐ニ於テハ石岐橫街、迎恩街、吸陽街、武山峯里、城内ニテ

### 烟酒税 七萬元

農 師範 學 校	壹
女 子 師範 學 校	壹
國 民 小 學 六 十 四 門	壹
女 子 職業 學 校	壹
農 林 學 校	壹
第五項 澳 門	高等小學校五十四

石岐ヨリ曳船ニテ八時間ニシテ澳門ニ着ス澳門ハ葡萄牙領ニシテ風光明媚ノ地公開賭博場ヲ以テ有名ナリ澳門ホテルハ海岸ニ面スル好適ノ場所ニ在リテ宿泊料ヲ五元トス（食事ヲ除ク）夏季ハ此處ニ避暑スル者甚タ多シ

### 第六項 江 門

澳門ヨリ蒸氣船ニテ七時間ニシテ江門北街ニ着ス船ハ澳門泰樂輪船公司ノ蒸氣船ニシテ澳門北街間ヲ毎日（日曜日ハ休）往復セリ北街ハ新寧鐵道ノ終點ニ位シ稅關ノ所在地ニテ貨物ノ出入頻繁ヲ極ム北街ヨリ汽車ニテ凡廿分ニテ江門ニ着ス江門ハ一九〇四年外國貿易港トシテ開市セラレタル名市街トシテハ象興街、櫻鼓巷、新市街、書院街、上涉街通シ居レトモ此ノ入江ハ舢舨、筏ノ集合多ク汽船ヲ入ルニ適セス人口ハ凡五萬ト云フ陳德春ノ兵凡千人駐紮セリ著數同ノ發着ヲナシ斗山新寧地方ト連絡シ水路交通ハ汽船、

ハ東門街トシ魏軍ノ兵凡二千人駐紮ス教會堂アリ宣教師三名居住セリ  
知府公署ノ調査ニ係ル縣内ニ於ケル人口、學校數及一年間ニ於ケル產物稅率統計ヲ記スヘシ

人口 二百十八萬四千七百人  
產物 茲百八拾八萬三千二百六拾石

米 三百六十萬斤

甘蔗 六百萬斤

波蘿 四拾參萬斤

荔枝 八百五拾萬斤

香蕉 六百萬斤

柑橘 四百參拾萬斤

桔 七拾四萬斤

抽 二百萬斤

相 參百五十萬斤

梨 參十五萬斤

桔 五百六十四萬斤

稅 一百萬斤

錢糧 稅 參拾貳萬五千元

契稅（登錄稅） 五拾壹萬五千參百元

屋宇稅（家屋） 贳拾貳萬四千元

穀米 稅 拾八萬參千元

菓品 稅 拾五萬六千九百元

第七項 新會縣城

戎克船及民船ニ依ルモノニシテ澳門、香港、廣州トノ交通ヲナシ產物トシテハ果實、蔬菜、葵團扇等ヲ有名トス此地ハ旅客萬集ノ地ナレハ從ツテ旅館ノ多キコト他ニ其比ヲ見ス其數凡參拾軒ニ及ヒ半酒樓ヲ兼業セリ

女學校一ヶ所教會堂一ヶ所在リテ外人宣教師ノ在住スルモノ三名アリ城内ハ街路狹ク小商店アルニ過キサレトモ城外ノ運河ニ接スル地點ハ問屋軒ヲ並ヘテ貨物ノ出入ニ雜踏ヲ極ム產物トシテハ葵團扇、燈子（ダイヤ）、白菜等ニシテ葵團扇、燈皮ノ二品ハ其販路ヲ支那全國ニ有スルノミナラス南洋ニモ多ク輸出スサレハ此附近廣漠タル平野ハ悉ク其材料ヲ採ルヘキ葵樹ヲ以テ蔽ハル其製法ヲ見ルニ農夫ハ葵ヲ切リテ製造業者ニ賣リ製造業者ハ其枯死セサル内ニ日光ニ洒シ充分ニ乾燥スルヲ待チ葉ノ尖端ヲ斷ち水流ニ洗滌シ之ヲ乾燥シテ火炙斗ニ掛ケ娘ヲ延スト同時ニ光澤ヲ出シ之ヲ第ニ詰メテ硫黃ノ煙ヲ通シテ漂泊シ一定ノ時間ヲ經テ該箱ヨリ出シ之ニ繩ヲ取リ柄ヲ附シテ始メテ葵團扇トナル其乾燥ヨリ漂泊ニ至ルマテノ作業ハ製造家三ノ之ヲ爲スト雖モ其綠取り柄附トハ悉ク婦女子ノ手ニ委シ各自ノ家ニ持チ歸リテ其仕事ヲ爲スノ便ヲ得セシムルヲ以テ此地方ノ市街ト田舎トノ間ハス中流以下ノ家ニ在リテハ手ヲ空シクシテ遊フ者ヲ見受ケス

**新寧鐵道** 新寧鐵道ハ支那鐵道中最モ特色ヲ有シ且ツ商辦鐵道中第一ニ完成シタルモノニシテ一九一參年全部ノ開通ヲ見タリ現社長陳宜稜ハ公益埠ノ埠士ニシテ久シク米國ニ在リテ巨萬ノ富ヲ有セリ全線哩數ハ香山縣北街ヨリ斗山ニ至ル七十哩ニシテ現在ニ於ケル停車場ハ左ノ三十四トス北街、白石、江門、會城東、惠民門、汾水江、蓮塘、大澤南洋、沙沖、白廟、司前、大玉市、牛灣、公益灣、麥巷、萬福、大江、陳邊、水步、東坑堡、板園、寧城、東門、大亨、松郎、五十城、下坪、四九、大塘、江嶺、沖婆、六村斗山。

本鐵道ハ速力鈍クシテ動搖甚シク發着時間ノ不正確ナル他ニ其類ヲ見ス一二時間ノ遲延ハ殆ント常ナリ毎日兩端驛ヨリ二回ノ直通列車ヲ出シ車中ニハ護兵乗車シ途中ノ危險ニ備フ鐵道ハ廣軌ナルモ停車場ノ規模及設備不完全ニシテ見支那式ナルヲ覺ユルモ營業成績ハ比較的良好ニシテ常ニ多少ノ配當ヲ行ヒ居レリ

#### 第八項 九 江

江門北街ヨリ蒸氣船（香港九江間往復ノ汽船ニシテ船長事務長共ニ外人ナリ支那人經營ノ會社ニシテ現ニ毎月ノ缺損少カラスト云フ）ニテ五時間ニシテ九江ニ着ス此地ハ廣州ヲ去ル七十哩西江ノ左岸ニ位シ市街ハ民船碇泊地ヨリ數千里ノ内地ニ在リ比較的繁華ナル都會ヲ爲シ地方商業ノ中心ナリ人口六萬ト云ラ市街ハ河流（市凡四間ノ支流ニシテ民船ノ往来頻繁ナリ）ニ沿ヒテ長ク走リ凡十餘町ニシテ主要街ニ達ス大平街、錢江西街、正埠街等主ナルモノニシテ大

**第九項 三水縣城及河口**  
九江ヨリ曳船ニテ凡六時間ニシテ三水ニ着ス縣ハ北江ト西江トノ合流點ノ東方北岸ニ位シ高サ十五呎ノ城壁ヲ炮台セル丘上ノ市ニシテ丘上一帶ノ地ニハ桑、甘蔗ヲ種植シ低地ニハ米作ヲ爲ス省城ヨリ四十哩ノ地點ニ位ス此地ハ一八九七年中締甸國境條約ニヨリテ開市セラレタルモノニシテ河口ヲ同年六月四日ヨリ開市場トセリ外國人ハ多ク河口ニ住シ三水縣城ハ河口ヲ去ルコト約七八町廣三鐵道停車場ハ其中間ニアリ人口ハ河口ヲ合セテ凡六千ト稱シ河口ニハ稅關アリ城内市街道等モ殆ント廢類シ舉クヘキモノナシ廣州トノ交通ハ旅客ハ専ラ鐵道ヲ使用シ荷物運送ハ船ニ依ルモノ多シ鐵道ハ廣州及ヒ佛山ニ向ケ二時間ニ一同發車ス三水縣城ニハ旅館ノ如キモノナク只河口ニ二三之アルノミナ

#### 第十項 佛 山

三水ヨリ汽車ニテ凡一時間餘ニシテ着ス席州市ヲ去ル十哩

#### 第二節 北江方面

##### 第一項 蘭州府城（曲江縣）

ノ地點ニ位シ人口約二十萬餘ヲ有スル一大都會ナリ西江ノ一支流ニヨリテ市街ヲ南北ニ二分シ北市ハ人口一萬餘重ナル工場ハ茲ニアリ北部約三丁ノ處ニ廣三鐵路停車場アリ南市ハ商業機關ノ中心地トス全面積約二方哩ナリ當地ハ染色業、織布業、製紙業ヲ以テ有名ニシテ廣州ニ集ル紙類其他三角州地方全般ニ於テ使用セル紙等ハ殆ント全部佛山製モノナリ生產業及商業トシテハ生糸業、染色業、製紙附業、煙草製造業ヲ主トセルカ但シ蘭市製糸場等ノ設ナク此近ノ蘭ハ多ク他地方ニ運ヒ出サル此地日支合辦ニ係ル巧明燐寸工場アリ職工四百五十名ヲ使用シ居レリ交通ハ主トシテ廣三鐵道ニ依リ行ハルム民船汽船ニ依ルモノ亦少ナカラス鐵道ハ廣州ニ向ケ殆ント一時間毎ニ發車シ三水方面ハ二時間毎ニ發車セリ民船ニ依ル交通ハ四季常ニ往來自由ナレトモ夏期水期ニ於テハ度々不通トナルコト元リ

#### 第十一項 黃 埠

黃埠ハ廣東港ノ下流十餘哩ノ地點ニアリ往時泰西人ノ極貿易ハ此地ニ於テ行ハレバーチード人、葡萄牙人等ノ來住盛大ヲ極メシ處、殊ニ外國貿易船ノ同地以上遡江スルコトヲ許セラザン當時ハ非常ノ殷盛ヲ極メ百餘隻ノ船舶停泊シタルモ香港ノ隆盛ト廣東ヘノ外國汽船來泊ヲ許可セラルニ至リシヨリ舊時ノ佛失ヒ今ヤ一小寒村タルノ觀ヲ止ムノミトナレリ目下南方海軍ノ根據地トシテ常ニ軍艦碇泊シツクアツ

茶、皮釘靴、土綿糸、夏布、火腿、醬油、生小猪、燒酒、  
冀、上酒、茶麵、碧、桐油、薄荷油、鐵器、錫器、洋布、  
傘、雨傘、紙扇、白蠟、豬毛  
就中主要ナルハ南安、南雄ノ紙類、烟草湖南方面ヨリノ木  
材、菜油等トシ廣東ヨリ來ルハ雜貨食料品アリ殊ニ石油ノ  
如キハ亞細亞石油ノ支店アリテ北粵ニ一手供給ヲ爲シツ  
アリ

### 第三節 東江方面

#### 第一項 惠州府城(惠陽縣)及歸善縣

惠州ハ博羅ノ上流三十支里東江支流ノ本流ニ合スル所ニ在  
リ人口ハ舊府城(惠陽縣城)及歸善縣(舊歸善縣城)ヲ合  
シテ凡ソ四萬ト稱ス市況繁盛ニシテ頗ル活氣アリ其商業的  
方面ヨリ見レハ歸善縣外ヲ以テ樞要ノ地トナスヘシ惠州ハ  
善吉街ヲ以テ第一トシ各商店軒ヲ並フ歸善縣城外ハ一筋街  
ニシテ繁華ナルヲ水車街、平一坊等トス商務商舎及錢莊等  
ノ大廈此處ニアリテ商業上重要ノ機關ハ總ヘテ此ノ間ニ在  
リ錢莊ハ數十萬ノ資本ヲ有スト云フ交通トシテハ各地間ノ  
汽船皆本地ニ寄港シ乘客常ニ多數アリ定期小蒸汽ハ廣州專  
州間及石龍專州間ノ三線アリ當地ニ於ケル商業ハ歸善縣ニ  
子製造及藤席細工、竹敷物、花筵等ヲ以テ主ナルモノトセリ  
至リテ觀察スルヲ得ヘシ元來當地ハ特筆スヘキ產業ナク靴  
子製造及藤席細工、竹敷物、花筵等ヲ以テ主ナルモノトセリ

#### 第四節 西江方面

##### 第一項 梧州

梧州ハ一八九七年英國ト緬甸支那境界及通商ニ開スル修正  
條約ニヨリ開港セラレシ所ニシテ西江ノ上流桂江(又名撫  
江)ト大江ノ合流點ニ位シ西ハ桂江ニ沿ヒ南公西江(桂江  
ヲ隔テ約二百二十哩廣州ヨリ三水迄陸路ニヨルトキハ約百  
四十哩ニシテ水路ノ便ハ最モ多シ外洋船舶ノ出入自由ナ  
ル能ハサルモ吃水五呎未滿ノモノハ一年中約八ヶ月間ハ其  
上流百五十哩ナル貴縣ノ地方迄航行スルコトヲ得テ上流七  
十五哩ニ至ル迄ハ周年往復シ得ラルヘシ市城ノ人口ハ約八  
萬ヲ有シ廣西省第一ニ屬シ民國八年稅關統計ニヨレハ一千六  
百八十五萬五千百五十兩ニ達セリ河水ハ夏冬ニヨリ其水面  
ノ高々數十尺ノ差ヲ生ン城外ノ市街ハ每年浸水セサルコト  
ナク洪水ノ汎濫スルニ際シテハ增水六七十尺ニ達シ樓ヲ沒  
スルニ至ルコト屢々アルカ爲メ此等ノ災害ニ備フル必要上  
汽船會社、稅關、常關等河邊ニ接スル建築物ハ皆浮動式家屋  
ヲ造リ長キ鐵鎖ヲ以テ之ヲ繫キ水ノ増減ニ從ツテ上下スル  
ノ設備トセリ斯ノ如キ家ヲ一般ニ簡(筏)ト稱シ旅館及商  
店ニシテ之ニ倣フモノ又少ナカラス

督軍公署、道尹署、交涉使署、蒼梧縣署、警察局、鎮守使  
公署、郵政總局、電報局、造幣廠(建築中)、英國領事館等

省立中學校、縣立中學校、省立師範學校、縣立高等小學校

城廬高等小學校、南區國民學校、城南國民學校、崇聖學校

北區國民學校、綠猗國民學校、郡西國民學校、女師範講習  
所、廣東東山培正分校、平民半夜義學及ヒ惠師禮會經營ノ  
小學校等

#### 三會社

電燈股份有限公司、西江航業股分有限公司、集成航業股份  
有限公司、司面士製造公司、亞細亞及美孚石油ノ二會社等  
ニシテ此外中國化砂玻璃股份有限公司ト稱スル硝子製造會  
社目下建築中ナリ司面士製造公司ハ規模甚タ少ニシテ製品  
ノ評判モ宜シカラス

#### 四 銀行及銀舖

銀行ニハ廣西銀行アリ

銀舖ハ即チ銀號ニシテ其主ナルモノヲ擧クレハ左ノ如シ

平安、寅安、衛元、隆記、捷安等

#### 五 醫院

恩達公醫院(Saint Almonia Hospital)及ヒ三角西嘴醫院  
ニシテ恩達公醫院ハ初メ英人Stant銀四萬元ヲ以テ浸信  
會ニ寄附シテ設立シタルモノニシテ近來更ニ之ヲ擴張シ最  
近醫院ヲ新築シテ之ニ移轉セリ三角嘴西醫院ハ英人ノ經營  
ニ係ルモノトス

#### 六 耶蘇教堂

浸信會二、宣道會二、惠師禮會一、六日窟一  
七 旅館

同園、西江酒店、鴻安棧、棋生棧ハ中華客棧、泰安客棧等  
ヲ以テ主ナルモノトス同園ハ城内ニアリテ稍不便ナルモ清  
潔ニシテ且ツ四圍ノ眺望極メテ佳ナリ宿料ハ最上等一日銀

四時間ニテ廣州ニ着ス梧州南寧間ハ鬱江(左江)ヲ溯ルコト  
約三百六十八哩ノ航路ニシテ此間ニ從事スル船舶數三十三  
噸乃至七十五噸ノ石油發動船約二十艘アリテ内六隻ハ並籍  
ニ屬セリ今諸船ノ寄港地及貨銀ヲ舉クレハ左ノ如シ

寄港地 江口 桂平 貴縣 橫州 南鄉 水洋 南寧

運賃 一毛 一毛 二毛 四毛 四毛 五毛 六毛

右ハ湖航ノ貨銀ニシテ順航ニアリテハ約三割半ヲ減ス往復  
日數ハ季節ニヨリテ水量ノ多少ニ依リ異ナルモ大略左ノ如シ

月 別 航行 日 數

五一、二、三、四、湖航 六日乃至九日

五六、七、八、九、湖航 三日乃至十日

十六、七、八、九、順航 一日半乃至二日半

九、物産

米、茶、桂皮、葉煙草、木材、藍、牛皮、桐油(木油)、八

角油(大茴香油)、茶油、狼鐵礦、褐石鉛礦、牛豚等ヲ以テ

主ナルモノトス

第二項 南寧

南寧ハ廣西ニ於ケル開放地ニシテ支那政府ハ明治四十一年一  
月一日此處ニ税關ヲ設置シタリ廣西省ニ於ケル第一ノ都市  
ニ屬シ梧州府ヲ湖ルコト三百十九哩西江流域ノ左江ト稱ス  
ル枝流ノ北岸ニ位スル極メテ廣大ナル平原ニアリテ雲南、  
貴州兩省ヨリ運搬シ來ル多敷ノ貨物ハ大抵此ノ地ヲ通過セ  
ザルモノナシ西江ノ南枝流ハ其溯源ヲ雲南省ノ廣南縣ニ發

シ東南ニ流レテ南寧府ニ及ヒ潯州府ニ入り該地方ニ於テ北  
支流ト接續シテ兩派ノ水流相聯リテ東方ニ下リ梧州府城ニ  
至ル當市ハ廣西省ノ貿易上ヨリ論スレハ梧州府ノ次ニ位シ  
民國八年度ニ於ケル稅關統計ニヨルニ貿易總額七百九十九  
萬二千五百二十九兩ニ達シ民國四年以來殆ト増減ヲ見ス當  
市ニ居住スル商民ハ重ニ廣東人ニシテ他ハ江西省ヨリ移住  
シ來レルモノ多シ

一、人口 由來精ナル戸口調査ナキ爲メ完全ナル統計ヲ  
現バス能ハナルモ近年人口ノ增加シタルコトハ疑ヒナキ  
處ニシテ家屋ノ不足ニ徵スルモ明白ナリ

今南寧城内外及船内ニ居住スル者ノ數ヲ舉クレハ大約左  
ノ如シ

城内 二五、〇〇〇人 城外 三〇、〇〇〇人

水上生活 三、〇〇〇人 合計 五八、〇〇〇人

外二日、英、米、佛人等約三一人アリ

但シ水上生活者ノ一部分ハ常に兩江ヲ上下シ居レルヲ以  
テ時ニ其ノ數ニ異動アルコトハ免レサルヘシ

二、諸官衙ノ主ナルモノ左ノ如シ

廣西督軍署、廣西省長公署、財政廳、廣西審判廳分局、  
廣西軍機局、兵器修理所、廣西憲兵隊、南寧警察廳、南  
寧水上警察廳、邕寧縣公署、廣西兵輪局、南寧海關、南  
寧關監督署、南寧統稅局、廣西全省、電政監督局、南寧  
電報局、廣西郵務管理局、南寧郵政局、邕寧道尹公署、  
高等審判廳、高等檢察廳、南寧地方審判廳、南寧地方檢  
察廳、南寧菸酒公賣局、印花稅支署、廣西造幣廠、南寧

五、龍州ヲ經テ佛領東京ニ出テ更ニ海底線ニヨルモノ  
港ヲ經テ上海ヨリ海底線ニヨルモノ

口、北京ニ至ルモノ

一、普通柳州又ハ梧州ヲ經テ桂林ニ出テ湖南省ヲ通  
過シテ北京ニ至ルモノ

二、梧州廣東ヲ經テ陸線上海ニ至リ更ニ北京ニ至ル  
モノ

三、百色ヲ經テ雲南省ニ至リ更ニ四川省ヲ經テ北京  
ニ至ルモノ

ハ、陸省ニ至ルモノ

一、廣東及湖南ニハ日本及北京線ノ第一項線ニヨル

二、雲南省ニハ百色ヲ經テ雲南省ノ廣南ニ至ルモノ

三、貴州省ニハ馬平ヨリ思恩ヲ經ルカ或ハ湖南又ハ  
雲南ニ出テ更ニ同省ニ至ルモノ

四、佛領東京ニハ龍州ヲ經テ河内ニ至ルモノ

(二)郵便

一、梧州廣東ヲ經テ香港ニ至リ更ニ海底線ニヨリ臺灣ニ

二、梧州廣東ヲ經テ福州ニ至リ海底線ニヨリ臺灣ニ

三、柳州、桂林ヲ經テ湖南省ニ出テ武昌ヲ經過シテ

四、百色ヲ經テ雲南省ニ出テ更ニ四川省ヲ經テ上海  
ヨリ海底線ニヨルモノ

本局接續線  
イ、日本ニ至ルモノ  
用シ居レリ

一、梧州廣東ヲ經テ香港ニ至リ更ニ海底線ニヨリ上海  
ニ出テ日本ニ至ルモノ  
至ルモノ(普通此線ヲ使用ス)

二、梧州廣東ヲ經テ福州ニ至リ海底線ニヨリ臺灣ニ

三、柳州、桂林ヲ經テ湖南省ニ出テ武昌ヲ經過シテ

四、百色ヲ經テ雲南省ニ出テ更ニ四川省ヲ經テ上海  
ヨリ海底線ニヨルモノ

